一般社団法人　九州経済連合会

第 66 回定時総会　資料

≪ 決 議 事 項 ≫

第１号議案　　2025 年度 収支決算（案）

第２号議案　　理事・監事 選任（案）

第３号議案　　会費改定（案）

≪ 報 告 事 項 ≫

報告事項１　　2025 年度 事業報告

報告事項２　　2026 年度 事業計画 及び 収支予算

第１号議案

2025年度 収支決算（案）

財 務 諸 表

（2025年4月1日～2026年3月31日）

１．貸借対照表
２．正味財産増減計算書
３．財産目録
４．財務諸表に対する注記
５．収支計算書

一般社団法人　九州経済連合会

1. 貸 借 対 照 表

2026年3月31日現在　　（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ.資 産 の 部			
1.流 動 資 産			
現 金 預 金	42,395,537	67,174,815	△ 24,779,278
未 収 金	3,335,962	4,063,059	△ 727,097
立 替 金		0	0
流 動 資 産 合 計	45,731,499	71,237,874	△ 25,506,375
2.固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
基 本 財 産 合 計	0	0	0
(2) 特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 預 金	169,300,000	178,227,000	△ 8,927,000
運 営 準 備 引 当 預 金	162,500,000	162,500,000	0
周 年 事 業 引 当 預 金	23,000,000	23,000,000	0
減 価 償 却 引 当 預 金	12,342,171	10,036,979	2,305,192
特 定 資 産 合 計	367,142,171	373,763,979	△ 6,621,808
(3) その他の固定資産			
備 品 什 器	10,015,685	11,610,745	△ 1,595,060
入 居 保 証 金	10,306,728	10,306,728	0
その他の固定資産合計	20,322,413	21,917,473	△ 1,595,060
固 定 資 産 合 計	387,464,584	395,681,452	△ 8,216,868
資　産　合　計	433,196,083	466,919,326	△ 33,723,243
Ⅱ.負 債 の 部			
1.流 動 負 債			
未 払 金	678,659	1,497,076	△ 818,417
預 り 金	1,711,649	703,814	1,007,835
前 受 金	0	150,000	△ 150,000
流 動 負 債 合 計	2,390,308	2,350,890	39,418
2.固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	169,300,000	178,227,000	△ 8,927,000
固 定 負 債 合 計	169,300,000	178,227,000	△ 8,927,000
負　債　合　計	171,690,308	180,577,890	△ 8,887,582
Ⅲ.正 味 財 産 の 部			
1.指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2.一般正味財産			
一般正味財産合計	261,505,775	286,341,436	△ 24,835,661
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(195,536,979)	(195,536,979)	0
正 味 財 産 合 計	261,505,775	286,341,436	△ 24,835,661
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	433,196,083	466,919,326	△ 33,723,243

2. 正味財産増減計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで　　（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,040,691	645,471	395,220
②受取入会金			
受取入会金	1,550,000	1,050,000	500,000
③受取会費			
受取会費	291,332,500	293,507,500	△ 2,175,000
④雑収益			
雑収益	1,560,398	1,727,273	△ 166,875
経常収益計	295,483,589	296,930,244	△ 1,446,655
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	108,996,807	102,428,171	6,568,636
総会役員会費	8,779,747	7,715,559	1,064,188
会員懇談会費	5,290,978	4,829,211	461,767
委員会費	41,616,182	41,295,865	320,317
調査費	3,694,177	5,856,940	△ 2,162,763
刊行費	6,593,317	4,830,351	1,762,966
旅費交通費	8,975,230	8,267,968	707,262
通信費	2,298,986	2,276,087	22,899
図書資料費	573,284	581,451	△ 8,167
加盟団体費	2,622,800	2,628,090	△ 5,290
特別事業費	20,652,101	21,151,152	△ 499,051
研修費	117,020	193,880	△ 76,860
交際費	544,294	232,712	311,582
印刷費	1,810,010	1,571,897	238,113
消耗品費	286,695	122,007	164,688
諸税	399,113	203,898	195,215
雑費	61,150	98,770	△ 37,620
②管理費			
役員報酬	19,000,000	19,000,000	0
退職給付費	19,583,000	0	19,583,000
福利厚生費	23,347,811	25,462,467	△ 2,114,656
家賃	36,762,509	36,216,344	546,165
備品費	11,071,497	12,134,909	△ 1,063,412
修繕費	4,574,482	6,891,357	△ 2,316,875
減価償却費	1,595,060	1,634,044	△ 38,984
経常費用計	329,246,250	305,623,130	23,623,120
当期経常増減額	△ 33,762,661	△ 8,692,886	△ 25,069,775

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金取崩	19,583,000	0	19,583,000
経常外収益計	19,583,000	0	19,583,000
(2) 経常外費用			
退職給付引当金繰入	10,656,000	10,000,000	656,000
経常外費用計	10,656,000	10,000,000	656,000
当期経常外増減額	8,927,000	△ 10,000,000	18,927,000
当期一般正味財産増減額	△ 24,835,661	△ 18,692,886	△ 6,142,775
一般正味財産期首残高	286,341,436	305,034,322	△ 18,692,886
一般正味財産期末残高	261,505,775	286,341,436	△ 24,835,661
Ⅱ. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ. 正味財産期末残高	261,505,775	286,341,436	△ 24,835,661

3. 財　産　目　録

2026年3月31日現在　　（単位：円）

	金	額	
Ⅰ. 資産の部			
1. 流動資産			
現金			
現金手許有高	479,972		
当座預金			
福岡銀行本店営業部他	36,769,821		
普通預金			
宮崎銀行福岡支店他	5,145,744		
未収金			
第76回九州経済懇談会各社負担分他	3,335,962		
流動資産合計		45,731,499	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0		
(2) 特定資産			
退職給付引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	169,300,000		
運営準備引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	162,500,000		
周年事業引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金	23,000,000		
減価償却引当預金			
福岡銀行本店営業部定期預金他	12,342,171		
特定資産合計	367,142,171		
(3) その他固定資産			
備品什器			
応接室内内装工事、電気設備他	10,015,685		
入居保証金			
電気ﾋﾞﾙ共創館入居保証金	10,306,728		
その他固定資産合計	20,322,413		
固定資産合計		387,464,584	
資産合計			433,196,083
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
国内出張精算、理事会会場費	678,659		
預り金			
3月分給与における源泉所得税他	1,711,649		
流動負債合計		2,390,308	
2. 固定負債			
退職給付引当金	169,300,000		
固定負債合計		169,300,000	
負債合計			171,690,308
正味財産合計			261,505,775

4. 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産(備品什器)は、定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準
引当金の計上基準については、それぞれ以下の金額を計上している。
・退職給付引当金・・・・・役員並びに職員の期末自己都合要支給額の99.5%

(4) リース取引の処理方法
・ファイナンス・リース取引
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理
消費税は税込み処理を選択している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金積立金	0	0	0	0
小　　計	0	0	0	0
特定資産				
退職給付引当預金	178,227,000	10,656,000	19,583,000	169,300,000
運営準備引当預金	162,500,000	20,000,000	20,000,000	162,500,000
周年事業引当預金	23,000,000	0	0	23,000,000
減価償却引当預金	10,036,979	2,305,192		12,342,171
小　　計	373,763,979	32,961,192	39,583,000	367,142,171
合　　計	373,763,979	32,961,192	39,583,000	367,142,171

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	169,300,000	0	0	169,300,000
運営準備引当預金	162,500,000	0	162,500,000	0
周年事業引当預金	23,000,000	0	23,000,000	0
減価償却引当預金	12,342,171	0	12,342,171	0
小　　計	367,142,171	0	197,842,171	169,300,000
合　　計	367,142,171	0	197,842,171	169,300,000

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備品什器			
備品什器	25,565,666	15,549,981	10,015,685
合　　計	25,565,666	15,549,981	10,015,685

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

有価証券（証券会社）	帳簿価額	時　　価	評価損益
福岡県令和4年度第1回公募公債（野村証券㈱）	20,000,000	17,947,280	△ 2,052,720
福岡市2022年度第8回公募公債（野村証券㈱）	10,000,000	9,112,710	△ 887,290
モルガン・S 株価指数連動債（みずほ証券㈱）	50,000,000	47,510,000	△ 2,490,000
福岡県令和5年度第1回公募公債（みずほ証券㈱）	10,000,000	9,004,000	△ 996,000
福岡県令和3年度第3回公募公債（MUMS証券㈱）	30,000,000	27,147,300	△ 2,852,700
福岡県令和4年度第1回公募公債（MUMS証券㈱）	10,000,000	8,948,800	△ 1,051,200
福岡県令和5年度第1回公募公債（MUMS証券㈱）	10,000,000	8,977,300	△ 1,022,700
合　　計	140,000,000	128,647,390	△ 11,352,610

5．収　支　計　算　書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	予　算　額	決　算　額	差　　異	備　　考
Ⅰ．事業活動収支の部				
１．事業活動収入				
特定資産運用収入				
特定資産利息収入	850,000	1,040,691	△ 190,691	
入会金収入				
入会金収入	1,500,000	1,550,000	△ 50,000	入会42社
会費収入				
会費収入	295,070,000	291,332,500	3,737,500	退会38社
雑収入				
受取利息収入	100,000	10,398	89,602	
その他収入	1,350,000	1,550,000	△ 200,000	広告掲載料・事務委託費
事業活動収入計(A)	**298,870,000**	**295,483,589**	**3,386,411**	
２．事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	106,900,000	108,996,807	△ 2,096,807	期中昇格等
総会役員会費支出	8,000,000	8,779,747	△ 779,747	会場費等
会員懇談会費支出	5,300,000	5,290,978	9,022	
委員会費支出	49,700,000	41,616,182	8,083,818	
調査費支出	3,700,000	3,694,177	5,823	
刊行費支出	4,900,000	6,593,317	△ 1,693,317	SNS情報発信関係
旅費交通費支出	9,400,000	8,975,230	424,770	
通信費支出	2,300,000	2,298,986	1,014	
図書資料費支出	500,000	573,284	△ 73,284	
加盟団体費支出	2,700,000	2,622,800	77,200	
特別事業費支出	20,200,000	20,652,101	△ 452,101	ﾂｰﾙ･ﾄﾞ・九州負担金他
研修費支出	300,000	117,020	182,980	
交際費支出	500,000	544,294	△ 44,294	
印刷費支出	2,000,000	1,810,010	189,990	
消耗品費支出	300,000	286,695	13,305	
諸税支出	300,000	399,113	△ 99,113	
雑支出	200,000	61,150	138,850	
事業費支出計(B)	**217,200,000**	**213,311,891**	**3,888,109**	
管理費支出				
役員報酬支出	19,000,000	19,000,000	0	
退職給付費支出	19,800,000	19,583,000	217,000	
福利厚生費支出	24,100,000	23,347,811	752,189	
家賃支出	36,000,000	36,762,509	△ 762,509	電気代・清掃費
備品費支出	10,800,000	11,071,497	△ 271,497	ﾗｲｾﾝｽ料追加
修繕費支出	3,000,000	4,574,482	△ 1,574,482	ﾒｰﾙ配信ｼｽﾃﾑ改修
管理費支出計(C)	**112,700,000**	**114,339,299**	**△ 1,639,299**	
事業活動支出計(D)=(B)+(C)	**329,900,000**	**327,651,190**	**2,248,810**	
事業活動収支差額(E)＝(A)-(D)	**△ 31,030,000**	**△ 32,167,601**	**1,137,601**	

（単位：円）

科　　目	予　算　額	決　算　額	差　　異	備　　考
Ⅱ．投資活動収支の部				
１．投資活動収入				
特定資産取崩収入				
運営準備引当預金取崩収入	20,000,000	20,000,000	0	
退職給与引当預金取崩収入	19,800,000	19,583,000	217,000	
減価償却引当預金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計(F)	**39,800,000**	**39,583,000**	**217,000**	
２．投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当預金取得支出	10,000,000	10,656,000	△ 656,000	
運営準備引当預金取得支出	0	20,000,000	△ 20,000,000	
減価償却引当預金取得支出	1,500,000	2,305,192	△ 805,192	
什器備品取得支出	0	0	0	
投資活動支出計(G)	**11,500,000**	**32,961,192**	**△ 21,461,192**	
投資活動収支差額(H)＝(F)-(G)	**28,300,000**	**6,621,808**	**21,678,192**	
Ⅲ．財務活動収支の部				
１．財務活動収入				
借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計(I)	**0**	**0**	**0**	
２．財務活動支出				
借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計(J)	**0**	**0**	**0**	
財務活動収支差額(K)＝(I)-(J)	**0**	**0**	**0**	
Ⅳ．予備費支出				
予備費支出(L)	0	0	0	
当期収支差額(M)＝(E)＋(H)＋(K)-(L)	**△ 2,730,000**	**△ 25,545,793**	**22,815,793**	
前期繰越収支差額(N)	**68,886,984**	**68,886,984**	**0**	
次期繰越収支差額(O)＝(M)＋(N)	**66,156,984**	**43,341,191**	**22,815,793**	

（注）　１．収支計算書は「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申し合わせ）に示された3区分の様式により作成している。
２．借入金限度額（該当なし）
３．債務負担額（該当なし）

収支計算書に対する注記

１．重要な会計方針

資金の範囲について・・・現金預金、未収金、未払金、預り金を含める。

２．次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期末残高
現金預金	67,174,815	42,395,537
未収金	4,063,059	3,335,962
合　　計	71,237,874	45,731,499
未払金	1,497,076	678,659
預り金	703,814	1,711,649
前受金	150,000	0
合　　計	2,350,890	2,390,308
次期繰越収支差額	68,886,984	43,341,191

監　査　報　告　書

私どもは、一般社団法人九州経済連合会の2025年4月1日から2026年3月31日までの2025年度における財産の状況および理事の業務執行の状況を監査しましたので、これについて次のとおり報告いたします。

財産の状況については、2025年度の財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録）、ならびに収支計算書等を慎重に検討し、また、理事の業務執行の状況について、理事会等に出席し、必要に応じ報告および説明を徴することにより、監査を行いました。

その結果、

(1)　財産の状況に関し、2025年度の財務諸表は、すべての重要な点において適正に表示されているものと認めます。

(2)　理事の業務執行に関し、不正の行為、または法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

2026年　4　月　28　日

一般社団法人　九州経済連合会

監　事　眞永幸典

監　事　和田あずさ

第２号議案

理事・監事選任(案)

（敬称略）

【理　事】

■退任予定理事（4 名）

右　田　聖　秀（みぎた　まさひで）	ＮＴＴ西日本㈱	執行役員九州支店長
森　　拓二郎（もり　たくじろう）	㈱十八親和銀行	顧　　問
依　田　直　久（よだ　なおひさ）	㈱ブリヂストン	前・首席主幹 創業地区渉外責任者
堀　江　広　重（ほりえ　ひろしげ）	(一社)九州経済連合会	専　務　理　事

■新理事候補（4 名）

松　本　善　雄（まつもと　よしお）	ＮＴＴ西日本㈱	設備本部担当部長 （2026 年 6 月 12 日　執行役員九州支店長　就任予定）
山　川　信　彦（やまかわ　のぶひこ）	㈱十八親和銀行	頭　　取
岡　　豊　彦（おか　とよひこ）	㈱ブリヂストン	創業地区渉外責任者
庄　山　和　利（しょうやま　かずとし）	西日本鉄道㈱	顧　　問

【監　事】

■退任予定監事（1 名）

和　田　あずさ（わだ　あずさ）	㈱ＮＴＴドコモ	執行役員九州支社長

■新監事候補（1 名）

東　原　　弘（ひがしはら　ひろし）	㈱ＮＴＴドコモ	経営企画部接続推進室長 （2026 年 6 月 12 日　九州支社長　就任予定）

以　上

第３号議案

会 費 改 定（案）

近年の諸物価上昇に伴い、本会事業活動に関わる会議会場使用料や宿泊費等のコスト増が続いており、更に事務所のオフィス賃料も本年 4 月から移転以降初の値上げとなりました。また、景気の好循環が求められる中で、職員給与等の人件費についても引き続き上昇を見込む必要があります。

事務局運営費は、2023 年以降、単年度収支を補うための積立金取り崩しが続いており、中長期的な事業活動を見据えた予算編成が困難となりつつある状況です。

こうしたことから、昨年 9 月の理事会でのご了解のもと、事業内容の見直しや効率化と併せて、財務状況のシミュレーションなどを行いながら、物価上昇に伴う妥当な会費水準について検討を重ねてまいりました。

その結果、今後、事業活動の充実を図っていくためには、会費改定をお願いせざるを得ないという結論に至り、去る 5 月 15 日開催の第 185 回理事会での審議を経て、本総会にて会員の皆様にお諮りするものです。

具体的には、下記の内容で会費改定を行いたいと考えますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

なお、この度の会費改定は、1997 年に 1 口 10 万円を 15 万円に改定して以来、30 年ぶりとなります。

記

〔会費改定案〕

１．年会費：　【正 会 員】15 万円/1 口（現行）　→　17 万円/1 口（改定案）
　　【賛助会員】 5 万円/1 口（現行）　→　 6 万円/1 口（改定案）

２．時　期：　 2027 年度（2027 年 4 月請求分より）

以　上

報告事項１

2025 年度

事 業 報 告

第　65　号

一般社団法人　九州経済連合会

目 次

はじめに・・ **2**

Ⅰ 主な活動・・ **3**
＜2025 年度 主な事業＞

Ⅱ 総会・役員会等・・**10**
総会、理事会、役員会等
会員懇談会等

Ⅲ 委員会活動・・**12**
資源エネルギー・環境委員会
産業振興・デジタル推進委員会
地域共創委員会
交通委員会
関門連携委員会
地域委員会

Ⅳ 国内外の団体等との活動・経済交流等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **19**
九州地域戦略会議
経済団体等との懇談
海外との経済交流

Ⅴ 関連協議会等の活動・・・ **22**
西日本経済協議会
九州航空宇宙開発推進協議会
知的財産権研究会
九州国際医療機構
九州の食輸出協議会
東九州軸推進機構
下関北九州道路建設促進協議会
九州経済国際化推進機構
九州大学学術研究都市推進協議会
九州エネルギー問題懇話会
九州沖縄地方創生・産業振興懇談会
九州・沖縄文化力推進会議
(一社)九州 MaaS 協議会
九州ＤＸ推進コンソーシアム

Ⅵ 事務局の取組・・ **27**

Ⅶ 本会要望・意見等 ・・ **30**

はじめに

本会では、2021 年４月の創立 60 周年を機に公表した『九州将来ビジョン 2030』（共生・共感・共創アイランド九州　～成長と心の豊かさをともに）に基づき、2025 年度は、第 2 期中期事業計画(2024～26 年度)に掲げた「11 の重点戦略」(後掲)に沿って事業に取り組んだ。

第 1 に、九州の強みを活かしながら成長エンジンを伸ばしていく取り組みである。新生シリコンアイランド九州の実現に向けて、台湾貿易センター(TAITRA)・JETRO との三者 MOU を締結(2025 年 9 月)した。農林水産業に関しては、輸出拡大に向けて海外４ヵ国・地域において九州フェアを官民共同で開催、モクビル普及に向けた会員への周知を行った。GX に関しては、環境省と連携し、脱炭素マッチングイベントの開催や ESG 投融資拡大に向けた金融機関の取り組み支援など、様々な活動を実施した。

第２に、ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進である。九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望活動を行った(2025 年 8 月)ほか、事業開始 2 年目となる「九州 MaaS プロジェクト」では、アプリを活用したデジタルチケットの販売拡大や各県自治体と連携した持続可能な地域交通づくりなどを推進した。また,ツール・ド・九州第３回大会を５県で開催(2025 年 10 月)。デジタルを活用した災害対策の高度化に向けて、県境をまたぐ広域連携の実証(2026 年 2 月)などを行った。

第 3 に、若者・女性に選ばれる地域づくりの推進である。「子育てランド九州プロジェクト」において、男性育休の取得促進に向けた九州統一の認証制度「イクドリ！宣言」を創設、若者の地元定着に向けてツール・ド・九州「Locus プログラム」を実施した。また、構造的な賃上げを通じた成長型経済の実現に向け、九州経済 4 団体による共同宣言(2026 年 2 月)を行った。

近年、地政学リスクの高まりや物価上昇、人手不足など、九州を取り巻く環境が大きく変化している中で、九州では半導体関連の設備投資が増加していることや外国人入国者数が過去最高を更新するなど、明るい動きも継続している。

本会は今後も、九州の強みを最大限に引き出すとともに、産学官のまとまりの良さを活かしながら、九州を更に元気にし、九州から日本の明るい将来に貢献していけるよう取り組んでいきたい。

Ⅰ　主な活動

【重点戦略１】「新生シリコンアイランド九州」の実現



2025.5 月　第 3 期九州創生アクションプラン
(九州地域戦略会議 QX プロジェクト立ち上げ)

・九州地域戦略会議 QX プロジェクトを立ち上げ、官民連携施策の検討

- 九州地域戦略会議のQXプロジェクトの一つとして新生シリコンアイランド九州プロジェクト立ち上げ（2025年5月）
- 新生シリコンアイランド九州情報連絡会を開催
  （2025年9月・11月、2026年3月）

・半導体ユーザー産業の振興ならびに政府要望案の検討およびサプライチェーン強靭化に資する取り組み実施

- 九経連・半導体戦略専門部会を開催
  （2025.5月・9月・12月、2026年3月）
- 日台半導体産業共創イベント実施（2025年7月）
  ※九州大と台湾陽明交通大学とのMOUを基に、九経連・Q-BASS(※)が後援しマッチングイベントを実施
  ※九州・沖縄地域　地銀13行連携



2025. 9 月　TAITRA・JETRO との三者 MOU 締結

・TAITRA・JETRO との三者 MOU 締結

- それぞれにネットワークを有する台湾貿易センター（TAITRA）、ジェトロ、九州経済連合会の三者連携
- 台湾企業の九州への誘致、日台企業間連携の推進、日台間経済交流の活性化を図るため連携協定を締結（2025.9月）

・北海道経済連合会との MOU 締結

- 類似する地域特性がある北海道と九州が、両経連間の一層の交流促進・連携強化
- 相互の情報・ノウハウ、人的・物的ネットワークの活用で、地域経済活性化、地域課題解決、国の経済安全保障・食料安全保障に寄与していくため連携協定を締結（2026.1月）

【重点戦略２】各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援



2025.11 月 DX 先進企業視察ツアー


2025.10 月　企業タイアップセミナー(東京都)


2025.10 月　企業人材の農業派遣に関するダイハツ工業との意見交換（滋賀県竜王町）


2025.7 月　農林水産省・滝波副大臣へ手交

・九州全域での中堅・中小企業に対する DX 支援の推進

- 経営者の意識変革を促す施策の実施（DX先進企業視察ツアー/専門家によるセミナー・ワークショップ）

・次世代リーディング産業の育成・誘致・振興

- 産業振興のニーズや課題等の把握のため、ヒアリング等市場調査を実施（2件）→チップやソフトなどエレクトロニクス応用推進がポイント

・産業界の生産性・付加価値向上に向けた支援・展開

- 先進工場見学会を3回実施

・食品の輸出拡大に向けた官民共同プロモーション

- 九州地域戦略会議「九州の食」輸出推進プロジェクト実行（現地市場ニーズ分析、オール九州フェア、輸出支援機能の強化　等
- 海外現地小売店での九州フェア開催（イオン・カンボジア、SEIBUマレーシア、台湾・大潤發、米国・PPIH）

・農業の多様な担い手確保と生産性向上支援

- 農業体験者の拡大（企業研修への農業カリキュラム導入や、援農アプリ活用、農業ボランティア参加　11社が農業労働力支援を実施、企業による農業労働力支援スキーム研究）
- 九州各県と連携し、経団連と共催で企業の「農業参入セミナー」を開催（参加者78名）（2025.10月）
- 企業人材の農業派遣の仕組みづくり検討（企業参入や人的支援の事例調査６か所と、成功要因分析）

・九州各県と連携した木材サプライチェーンの構築、地元材による供給情報の集約・活用

- 林業活性化取組みモクビル研究会開催（３回）
- 木造建築呼びかけチラシ、パンフレット配布
  アンケートの実施（2025.7月～2026.１月）

・九州の農林水産業の振興に関する要望

- 九州の農林水産業の事業基盤強化と成長事業化の実現に向けた要望活動の実施（2025.7月）

【重点戦略３】GX 推進及び将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組



2025.12 月 脱炭素ﾏｯﾁﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄ in 北九州



2026.3 月 環境省 ESG 金融ハイレベル・パネル



2025.11 月 メタネーション実証設備見学

・会員企業の脱炭素取組支援

- 脱炭素取組状況に関するアンケート調査の実施
  （調査期間：2025.11月～2026.１月）

・地域脱炭素推進に向けた環境省との連携事業

- 技術保有企業と自治体の脱炭素ﾏｯﾁﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄを共催
  ・北九州と那覇の2会場で開催（2025.11月、12月）
  ・自治体19団体、企業延べ60社が参加
- 学生向けサーキュラーエコノミー講演会（2026.２月）
- サーキュラー チャレンジ ウィーク in 薩摩川内の共催
  （2026.２月）

・ESG 投融資拡大に向けた金融機関の取り組み支援

- ｻｽﾃﾅﾌﾞﾙﾌｧｲﾅﾝｽの制度・開示を巡る動向、地方金融機関や地元企業の先進事例について講演(2026.１月)
- インパクト志向投融資に関する宣言や事例の共有に向けた協議等 （2025.９月、2026.3月）
- 環境省 ESG金融ハイレベル・パネルでの登壇説明
  （2026.3月）

・再エネや原子力など脱炭素電源の最大限活用、水素の利活用に向けた支援

- 水素とCO2を活用したメタネーション実証設備の見学会
  （2025.11月）
- 地域脱炭素に関する国の政策動向や各種支援策、自治体によるGHG排出量実質ゼロへの施策、フィルム型ペロブスカイト太陽電池の最新情報を発信 （2026.3月）

【重点戦略４】産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援



2025.10 月 KIX-Regional in Fukuoka

・ベンチャー支援活動への参画

- 九州・大学発ベンチャー振興会議を実施（2026.2月）
- 九州・山口ベンチャーマーケットを実施（2025.10月）

・九州におけるベンチャー支援団体・自治体との連携促進

- 関西エリアのベンチャー支援組織の視察会・意見交換会を開催（2026.2月）

・ベンチャー・スタートアップと会員企業との連携促進

- KIX-Regional in Fukuokaを経団連と共催(2025.10月)

・産学連携懇談会による先進モデルの発信・共有・展開

- 産学連携懇談会を実施 （2025.4月）

【重点戦略５】アジア地域諸国・世界との連携強化



2026.2 月　タイ医療機関視察・意見交換

・タイに経済交流ミッション団を派遣

- 高齢化が急速に進むタイのビジネスニーズを踏まえ、ヘルスケア産業分野を中心とした九州企業・団体で構成するミッション団(17社・25名)を派遣　(2026.2月)
- タイ企業と約50件の個別面談(商談)を実施するとともに、医療施設(病院)や関連企業の視察、関係省庁や大手財閥系企業幹部との意見交換を実施



2025.7 月　ベトナム次世代リーダーとの意見交換会

・九州プロモーションセンターin ハノイ(K.P.C.)の周知広報活動

- ベトナム政治・行政の次世代リーダーとの意見交換会(2025.7 月)など機会を捉えた K.P.C.の周知広報
- K.P.C.センター長が来日し、福岡県庁や福岡市役所、九州の主要経済団体などを訪問して K.P.C.の取り組みを説明、事業活動を PR (2026.3 月)

【重点戦略６】産学官連携による高度専門人材の育成支援



2025.12 月 ICT 人材育成事業成果報告

・ICT 人材育成事業（インターンシップ）の推進と九州広域展開

- インターンシップ参加：12社/23名
  この内、新規参加：企業３社、大学２校（大分県）
  （2025.4月～2025.12月）

【重点戦略７】九州地域の経済・産業活性化による所得・給与向上の取組



2025.5 月　第 47 回九州地域戦略会議

・九州地域戦略会議への九州経済４団体共同の取組報告、九州各県による賃上げ企業への支援拡充の働きかけ

- 九州地域戦略会議において各県へ働きかけを実施
  （2025.5月）
- 九州経済4団体が「価格転嫁の商習慣」の定着に向けた共同宣言（2026.2月）
- 九州経済懇談会(経団連との昼食懇談会)にて、上記宣言を報告し、オールジャパンでの機運を醸成（2026.3月）

【重点戦略８】多様性・包摂性ある風土の醸成



2025.12 月 登録開始



2025.4 月～2026.1 月
WE-Net 九州研修会

・「子育てランド九州プロジェクト」が始動

第 47 回九州地域戦略会議（2025. 5 月）

- 男性育休2週間以上100%取得を目指す
  「イクドリ！宣言」を行う企業の登録開始　（2025.12月）

・ジェンダー主流化の浸透へ、女性管理職ネットワーク「WE-Net 九州」研修会実施と、九州各地からの参画促進

- 定例会実施（全5回）、38名が参加　(2025.4月～)

【重点戦略９】ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進



2025.7 月 第 10 回 QDP 検討会



2025. 8 月「九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望」 中野国土交通大臣への手交

・九州広域データ連携プラットフォーム（QDP）の検討

- QDP検討会を計4回開催。九州広域データ連携の必要性を明確化。および構成・機能・運用等の事例を調査。
  （2025.4月～2026.2月）

・事業化・事業の早期実現に向けた要望活動等

- 「九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望」他、政府等への要望活動の実施　（2025.8月）

・九州地域戦略会議「九州 MaaS」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行

- 2025.8月　サービス開始 1 周年
  デジタルチケット発売枚数…約5.7万枚/月、ボーダレス交通の実現（４件）

【重点戦略 10】地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援



2025.7 月　合同勉強会
（九州地域戦略会議 防災・減災対策高度化 PJ）

・九州地域戦略会議「防災・減災対策高度化」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行

- 災害情報活用における広域連携の実証・実装
  （県境をまたぐ広域災害への備えとして、災害情報活用ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ「PREIN」を活用し、災害対応業務への活用や受援・支援等の相互連携の検討材料とする為）
- 大規模災害時における初動対応方針の策定・情報の標準化・出口戦略の検討

・サービスの企画・検討（九州防災 DX ﾀｽｸﾌｫｰｽ活用）

- 企画・PoCの準備を2件実施

【重点戦略 11】九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決



2025.10 月　ツール・ド・九州

・九州地域戦略会議「サイクルツーリズムの聖地・九州」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行

- 「マイナビツール・ド・九州2025」の開催（2025.10月）
  2025大会：観客数106千人、経済波及効果28億円
- 2026大会について、5県から6県へ開催拡大が決定
- 持続的開催に向けたビジョン・運営体制の検討

・大会をフックとした地域活性化事業の協業支援

- 2025大会の開催5県において、地域活性化事業を実施
  （高校生向け探究学習プログラム「Locus」、参加高校生360名、協力企業数27社・2団体）
  （2025.5 月～2026.3 月）

2025 年度 主な事業

11 の重点戦略 （2024～26 年度）	主な活動（2025 年度）
1.新生シリコンアイランド九州の実現 ～半導体関連産業を中心とした 産業集積支援と新たなまちづくり等 に向けた取組	**▷会員企業および九州地域戦略会議と連携した課題解決の取組み推進** **▷半導体関連企業及び半導体ユーザー企業の誘致・育成支援**
2．各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援	**▷「地域 DX 促進活動支援事業」の実施** **▷九州地域戦略会議「九州の食輸出促進」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行** （現地市場ニーズ分析、オール九州フェア、輸出支援機能強化について、官民一体の食輸出推進チーム、九州の食輸出協議会等により支援強化） **▷地域農業を地域企業で支える”人的支援”の取組強化** （援農アプリ活用＋企業からの人材派遣の仕組みづくり） **▷耕作放棄地対策の企業参入優良事例の調査、及び自治体連携モデル作成** **▷九州産木材の需要創出に向けた課題整理、周知具体策の展開** **▷九州地域戦略会議「サイクルツーリズムの聖地・九州」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行** （「ツール･ド･九州 2025」開催、サイクルスポーツ起点の観光振興）
3. GX 推進及び将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組	**▷会員企業へのアンケート・ヒアリングによる脱炭素の課題集約と取組支援** **▷マッチングイベントを通じた地域脱炭素化支援** **▷ＥＳＧ投融資拡大に向けた取組支援** **▷再エネや原子力など脱炭素電源の最大限活用、水素の利活用等の国要望**
4．産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援	**▷「九州・大学発ﾍﾞﾝﾁｬｰ振興会議」や「九州・山口ﾍﾞﾝﾁｬｰﾏｰｹｯﾄ」等への参画と各支援団体・自治体間の連携促進**
5．アジア地域諸国・世界との連携強化	**▷タイ経済交流ミッションの派遣（2025 下期）** **▷九州ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ in ﾊﾉｲ(K.P.C.)の周知広報活動** **▷World One Health Congress 2028等国際会議誘致支援**
6.産学官連携による 高度専門人材の育成支援	**▷ICT 人材育成インターンシップの九州広域展開に向けた、未開拓エリア（県）の会員企業、大学に対する参画の働きかけ**
7．九州地域の経済・ 産業活性化による所得・給与向上の取組	**▷構造的な賃上げによる経済好循環の実現に向けて、九州各県における賃上げの動向を調査し、働きかけ**
8. 多様性･包摂性ある風土の醸成	**▷九州地域戦略会議「子育てランド九州」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行**　（男性育休２週間取得 100%を要件とした高い基準の認証制度の創設）
9. ハード･ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進	**▷事業化・事業の早期実現に向けた要望活動、インフラ整備対応強化** **▷九州における広域データ連携の在り方に関する検討** **▷九州地域戦略会議「九州 MaaS」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行** **・地域経済の活性化につながる取組の推進** （観光・イベント等地域のコンテンツとの連携、インバウンド誘致等） **・官民共創事業の実施**（移動円滑化、移動需要の創出、持続可能な地域交通の構築）
10. 地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援	**▷九州地域戦略会議「防災・減災対策高度化」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行** ・災害情報活用における広域連携の実証・実装（「PREIN」活用） ・初動対応方針の策定、情報の標準化及び出口戦略の検討 **▷九州防災 DX ﾀｽｸﾌｫｰｽによる新たなサービス実証等の共創事業**
11．九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決	▷※ツール・ド・九州関係は、＜重点戦略 2＞産業成長支援（観光）へ記載移動 **▷人材確保・活躍に資する取組（副業人材、若者定着、留学生）** （「企業間人材共有モデル」実証、探求学習プログラム「locus」活用、外国人材地域コンソーシアム・大学等との協働） **▷交流・関係人口拡大に向けた取組** （九州国立博物館 20 周年への誘客支援、九州と本州の連携強化・関門地域の一体的発展施策実施、九州国際医療機構による医療渡航者誘致と受入体制強化） **▷幸せコミュニティ推進に資する取組（健康経営）** （「WE-Net 九州」研修会を通じた、健康経営に関する課題解決プラン・提言）

Ⅱ 総会・役員会等

総会、理事会、役員会等

開催日	会合名	内 容
総会		
2025/06/11	第 65 回定時総会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：2024 年度収支決算(案) 第 2 号議案：理事、監事選任(案) 報告事項①：2024 年度事業報告 報告事項②：2025 年度事業計画及び収支予算 ＜特別講演会＞ テーマ：「九州一体となった発展に向けて ～ONE KYUSHU プロジェクトチーム～」 講 師：九州市長会 会長 （熊本市 市長） 大西 一史 氏
理事会		
2025/05/12	第 181 回理事会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：理事、監事候補選任（案） 第 2 号議案：会長、副会長、専務理事、常務理事候補選任（案） 第 3 号議案：2024 年度事業報告（案） 第 4 号議案：2024 年度収支決算（案） 第 5 号議案：第 65 回定時総会の招集 及び会議の目的事項(案)
2025/06/11	第 182 回理事会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：会長 選任（案） 第 2 号議案：副会長 選任（案） 第 3 号議案：専務理事 並びに 常務理事 選任(案) 第 4 号議案：事務局長 選任（案） 第 5 号議案：代表理事 並びに 業務執行理事 選任（案） 第 6 号議案：審議員、諮問委員、顧問 選任（案） その他 ：委員会及び正副委員長一覧
2025/09/12	第 183 回理事会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：諮問委員、顧問選任(案) 第 2 号議案：会費の見直しについて(検討開始報告)
2026/03/27	第 184 回理事会 (福岡市)	＜議事＞ 第 1 号議案：諮問委員、特別顧問選任(案) 第 2 号議案：2026 年度事業計画(案) 第 3 号議案：2026 年度収支予算(案)
正副会長・委員長会議		
2026/01/28	正副会長・委員長会議 (福岡市)	＜懇談＞ 2026 年度 事業計画（案）について
役員選考委員会		
2025/05/12	役員選考委員会	＜議事＞ 1．理事並びに監事候補選定について 2．会長候補選定について 3．副会長候補選定について 4．専務理事並びに常務理事候補選定について
顧問会		
2025/12/11	顧問会 (東京)	＜懇談＞ 2025 年度主要事業の取り組み状況について
理事・審議員合同会議		
2025/09/12	理事・審議員合同会議 (福岡市)	＜議事＞ ・2025 年度上期事業進捗報告と今後の進め方について ＜卓話＞ 「経済安全保障の確保に向けて～技術・データ・製品等の流出防止～」 法務省 九州公安調査局 調査第二部 部長 中山 孝則 氏

会員懇談会等

開催日	会合名	内 容
九州経済懇談会 (経団連との懇談会)		
2026/03/12	第 76 回九州経済懇談会(福岡市)	＜基本テーマ＞ 「広域連携で切り拓く九州地域の未来戦略 ～九州から日本を動かす」 ＜懇談テーマ＞ ① 九州の強みを活かした地域経済活性化の重点戦略 ② 地方創生を推進する広域連携の取り組み
沖縄連携フォーラム		
2025/12/09	沖縄連携フォーラム (那覇市) ※沖縄県経済団体会議との共催	＜パネルディスカッション＞ テーマ：生成 AI の現状と今後の地域経済への影響について 基調講演 :株式会社 QTnet 佐伯 和弘 氏 問題提起：九州工業大学 宮野 英次 氏 モデレーター： 沖縄ＩＴイノベーション戦略センター 専務理事 山田 一誠 氏 パネリスト： 株式会社 QTnet 佐伯 和弘 氏 九州工業大学 宮野 英次 氏 アンドドット株式会社 茨木 雄太 氏
産学連携懇談会		
2025/04/23	産学連携懇談会 (福岡市)	＜先進事例報告＞ ・「産学連携活動について」 九州産業大学 学長 北島 己左吉 氏 ・「熊本県立大学 先進事例報告」 熊本県立大学 学長 堤 裕昭 氏 ・「KOSEN の産学官連携研究教育の取組み」 大分工業高等専門学校 機械工学科 教授 尾形 公一郎 氏 ・「産学連携について安川電機の場合」 ㈱安川電機 技術開発本部 技術連携推進部 担当部長 松尾 智弘 氏 ＜全体討議＞ （前回報告３大学の先進事例のフォローを含む）
新入会員交流会		
2026/01/28	新入会員交流会 (福岡市)	＜内容＞ ・新入会員による自己紹介と九経連正副会長委員長・参加者との懇談・交流
九州女性の会		
2025/04/16	4 月例会 (福岡市)	＜役員改選＞ 審議事項：2025～2026 年度 会長・副会長選任(案)について ＜講演＞「会員に学ぶ」 演題：「私の研究と社会活動 ～九経連との関連を中心に～」 講師：九州産業大学 名誉教授 益村 眞知子 氏 演題：「ホテルニューオータニが果たす役割と使命」 講師：㈱ニューオータニ九州 執行役員 マネージメントサービス部長 古賀 紹子 氏 演題：「可能性を広げ、地域定着に向けた取り組み」 講師：㈱マイナビ 北九州支部長 地域事業連携室 地域事業連携部 部長 竹藤 窓香 氏

2025/05/27	5 月例会 (福岡市)	＜視察＞福岡空港国際線ターミナルビル 案内：福岡国際空港㈱ 経営企画本部　経営企画部 経営管理課長　　松木　創 氏 経営管理課 チーフ　重森　佑介 氏
2025/06/11	6 月例会 (福岡市)	＜内容＞ 九経連第 65 回定時総会への参加
2025/07/16	7 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：「(女性の)キャリアについて ～管理職・リーダーシップを考える～」 講師：㈱西日本シティ銀行 取締役常務執行役員　小湊　真美 氏
2025/08/05 ～06	8 月例会 (鹿児島市)	＜内容＞ 九州地域戦略会議 夏季セミナーへの参加
2025/09/29	9 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：「食のニューオータニのシェフ・パティシエとして」 講師：ホテルニューオータニ博多 シェフ・パティシエ　酒井 和成 氏
2025/10/16	10 月例会 (京都市)	＜内容＞ 西日本経済協議会　第 67 回総会への参加
2025/11/11	11 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：「女性の心身の健康と睡眠 ～適切な睡眠がパフォーマンスや幸福感を増す～」 講師：久留米大学　学長　　内村　直尚　氏
2025/12/16	12 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：「世界・日本・九州・福岡経済の今を読む ～身近な視点で見る経済の動き～」 講師：九州産業大学 名誉教授 益村 眞知子 氏
2026/01/22	1 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：「写真でたどる私の履歴書」 講師：九経連　会長　池辺　和弘
2026/02/13	2 月例会 (福岡市)	＜講演＞ 演題：「新しい発想で切り拓く、芸術とビジネスの 可能性」 講師：博多人形師　　中村 弘峰　氏
2026/03/12	3 月例会 (福岡市)	＜内容＞ 第 76 回九州経済懇談会 （経団連と九経連との懇談会）への参加

Ⅲ　委員会活動

資源エネルギー・環境委員会

開催日	会合名	内　容
2026/03/03	2025 年度委員会 （福岡市）	＜議事＞ ・2025年度資源エネルギー・環境委員会事業報告 ・2026年度資源エネルギー・環境委員会事業計画(案) ＜講演＞ ・「地域脱炭素に係る取組について」 環境省 九州地方環境事務所 次長 兼 統括環境保全企画官 野口 淳一郎 氏 ＜先進事例発表＞ ・「脱炭素社会に向けた福岡市の取組みについて」 福岡市 環境局 脱炭素社会推進部 脱炭素社会推進課長 新宮領 潤 氏 ・「フィルム型ペロブスカイト太陽電池の事業化と福岡市との取り組みについて」 積水ソーラーフィルム㈱ 事業企画部 マーケティンググループ チーム長 久永 祐樹 氏
2026/01/27	2025 年度企画部会 （福岡市）	＜議事＞ ・2025年度資源エネルギー・環境委員会事業報告 ・2026年度資源エネルギー・環境委員会事業計画(案) ＜講演＞ ・「サステナブルファイナンス推進の取組」 金融庁 総合政策局 総合政策課 サステナブルファイナンス推進室長 高岡 文訓 氏 ＜先進事例発表＞ ・「地域のサステナビリティ向上への取組とサステナブルファイナンス事例ご紹介」 ㈱肥後銀行 経営企画部 サステナビリティ推進室長 坂口 尚 氏 サステナビリティ推進室 宮本 翔太郎 氏
ESG 投融資拡大に向けた金融機関の取り組み支援		
2025/9/12	第 6 回 九州・沖縄・山口 ESG 投融資推進会議 （大分市）	＜事例紹介＞ ・㈱大分銀行 『大分県と大分銀行』 ＜議事＞ ・「インパクト志向投融資宣言(仮称)」共同宣言ご指摘内容とその対応について ・共同宣言の今後の進め方について ＜情報共有＞ ・「インパクトファイナンスの活動について」㈱肥後銀行 ・「地域関係の政策・事業の状況について」環境省 ・各省庁部分支局からの情報発信
2026/03/6	環境省 第 9 回 ESG 金融ハイレベル・パネル （東京都）	＜内容＞ ・左記会議に出席し、「九州・沖縄・山口 ESG 投融資推進会議」の取組について九経連から説明
2026/03/18	第 7 回 九州・沖縄・山口 ESG 投融資推進会議 （福岡市）	＜報告＞ ・「環境省 ESG金融ハイレベル・パネル登壇について」 ＜議事＞ ・前回会議の振り返りとインパクト志向投融資宣言の同意手続きについて ＜情報共有＞ ・「琉球銀行 サステナブルファイナンスの取組について」 ・各省庁部分支局からの情報発信 ・次回開催について（沖縄県_㈱琉球銀行）
脱炭素電源の最大限活用、水素の利活用に向けた支援		
2025/05/15	第 5 回 カーボンニュートラル推進研究会 （福岡市）	＜講演＞ ・「西日本鉄道のGXに関する取り組みについて」 西日本鉄道㈱ 新領域事業開発部 新領域事業 開発担当課長 西田 壮宏 氏
		＜議事＞ ・2025 年度 CN 推進研究会の活動計画
2025/11/10	第 6 回 カーボンニュートラル推進研究会 （北九州市）	＜内容＞ ・西部ガス㈱ メタネーション設備(ひびき LNG 基地)見学

産業振興・デジタル推進委員会

開催日	会合名	内　容
2026/03/10	産業振興・デジタル推進委員会 （福岡市）	＜議題＞ ・ 2025年度事業報告 ・ 2026年度事業計画（案） ＜講演＞ ・「経営からの視点、独自半導体による自社製品の差別化と経済安全保障」 ㈱AIST Solutionsプロデュース事業本部 事業構想部 AI・半導体チームプロデューサー岡村 淳一 氏 ・「生成AI時代の経営戦略～経営者が向き合うべきリスクと人材育成～」 一般社団法人 日本ディープラーニング協会 専務理事 岡田 隆太朗 氏
2025/7/24	第1回先進工場見学会 （熊本市）	＜見学会＞ ・ 九州旅客鉄道㈱ 熊本総合車両所
2025/9/25	第1回産業振興部会 第2回先進工場見学会 （佐賀市）	＜議題＞ ・ 2025年度上期事業報告 ・ 2026年度下期事業計画（見直し案） ＜見学会＞ ・ ㈱ミゾタ 製造本部
2026/2/26	第2回産業振興部会 第3回先進工場見学会 （下関市）	＜議題＞ ・ 2025年度事業報告 ・ 2026年度事業計画（案） ＜見学会＞ ・ ㈱長府製作所 ・ 長府バイオマス発電所
2025/09/24	第1回デジタル推進部会 (福岡市＆オンライン)	＜議題＞ 第1部 ・ 2025年度 デジタル推進部会 上期活動報告＆下期計画 第2部 ・ 講演会「生成AIに関する実態調査2025を踏まえた日本企業が とりうる対応と実例」 PwCコンサルティング合同会社 Senior Manager 藤田 和聖 氏 ・ 情報提供「第22回 九州地域戦略会議『夏季セミナー』模様」について（説明：九経連）
2026/02/20	第2回デジタル推進部会 (福岡市＆オンライン)	＜議題＞ 第1部 ・ 2025年度 デジタル推進部会活動報告 ・ 2026年度 デジタル推進部会事業計画案 第2部 ・ 講演会「DX成功の鍵 従業員とウェルビーイングの重要性」 NTT西日本㈱ エンタープライズビジネス営業部 財津 将平 氏

ベンチャー支援		
2025/08/01	第10回九州・大学発ベンチャー振興実践会議 (福岡市)	＜議題＞ ・ 新会員の紹介・挨拶 ・ 令和7年度大学シーズ ・ 令和7年度企業ニーズ ・ 起業家教育の推進（ビジネスプランコンテストの実施） ・「九州・大学発ベンチャー振興会議」の次回開催日について ・ PARKSファンドについて ・ 九州工業大学AIを用いたニーズシーズマッチング支援システム (事務局：(一財)九州オープンイノベーションセンター、FFG ベンチャービジネスパートナーズ、九経連)
2025/10/07	KIX-Regional in Fukuoka (福岡市)	＜内容＞ ・ 講演 「自社の利益につながるベンチャー企業との協業～ベンチャークライアントモデルの普及に向けて～」 デロイト トーマツ ベンチャーサポート㈱ パートナー兼インダストリー＆ファンクション事業部長 宮澤 嘉章 氏 ・ スタートアップピッチ（関東7社、九州3社） ネットワーキング (共催：経団連、九経連)
2025/10/10	StartupGo!Go!2025 (福岡市)	＜内容＞ ・シード・アーリーステージの国内外 30 のスタートアップが優勝をかけて行う「The Pitch」を開催 （NICT「起業家万博」を選考） (主催：(一社)Startup GoGo、後援：九経連)
2025/10/21	九州・山口ベンチャーマーケット(KVM)2025 (福岡市)	＜内容＞ ・ピッチコンテスト 各県代表スタートアップ 2 社の計 18 社が登壇 ・基調講演 「スタートアップが VC から資金調達を受けるにあたってのポイント」 ㈱みらい創造インベストメンツ 代表取締役社長 岡田 祐之 氏 ・表彰式、交流会 (主催：九州・山口ベンチャーマーケット実行委員会)
2025/11/08	第24回九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト (福岡市)	＜内容＞ ・ コンテスト（1.2次審査を勝ち抜いた10組が出場） ・ 表彰式 グランプリ他の表彰 （九経連会長賞含む） (主催：九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト実行委員会)
2026/02/09	第10回九州・大学発ベンチャー振興会議 (福岡市)	＜議題（報告事項）＞ ・「九州・大学発ベンチャー振興会議」活動報告 ・ 大学からの報告 ・ シーズ事業化の進捗状況 ・ シーズの製品化状況 ・ 企業ニーズと大学シーズとのマッチング状況 ・ 過去ニーズ一覧表について ・ シーズ提出時の簡易説明資料作成について ・ PARKSファンドの現状について (事務局：(一財)九州オープンイノベーションセンター、FFGベンチャービジネスパートナーズ、九経連)
2026/02/18	関西エリアのベンチャー支援組織の視察会・意見交換会 (大阪市)	＜内容＞ ・視察会（JAM BASE メイン拠点） ・意見交換会（事業概要及びベンチャー支援の連携取組、ベンチャー支援の取組・連携・課題） ・参加組織（関西経済連合会、産総研関西センター、AIST Solutions、大阪産業局、福岡県、佐賀県、鹿児島県、北九州市、九経連） (主催：九経連)
サイバーセキュリティ推進への取り組み		
2025/11/26	DX&セキュリティセミナー (大分市＆オンライン)	題目：「中小企業の未来を創る「経営層が知るべき DX とセキュリティ」 ＜講演＞ ・「企業の未来を支える DX 施策と事例について」 IPA(独立行政法人情報処理推進機構) デジタル基盤センターデジタルトランスフォーメーション部 髙木智之 氏 ・「中小企業経営者だからこそ知るべきサイバー脅威の実態と自身の責任」～昨今の気になることを踏まえて～ ㈱ラック 技術顧問 西本 逸郎 氏 ・「サイバー空間をめぐる脅威の情勢とその対処法」 大分県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課 横山 あすか 氏
2026/01/30	サイバーセキュリティ・ワークショップ （大分市）	＜内容＞ 「インシデント発生！その時どう動く？机上演習で学ぶ実践対応」 IPA（独立行政法人情報処理推進機構）セキュリティセンター 普及啓発・振興部 佐藤 栄城 氏
2026/03/18～19	第 6 回九州サイバーセキュリティシンポジウム （佐賀市）	＜内容＞ 「オール九州でサイバーセキュリティ先進地域へ ～フェーズ 2 中小企業を含めたサプライチェーン全体での対策強化～ ㈱サイント 代表取締役 岩井 博樹 氏 他
ICT 人材育成への取り組み		
2025/07/31	ICT 人材育成事業キックオフ会議 (福岡市＆オンライン)	＜内容＞ ・ 実践インターンシップの概要説明 ・ 今年度参加学生の紹介 ・ 今年度参加学生によるスピーチ（抱負等） ・ 実践インターンシップの進め方の説明
2025/12/18	ICT 人材育成事業前期成果報告会 (福岡市＆オンライン)	＜内容＞ ・ 今年度参加学生による実践インターンシップの成果報告 ・ 修了証書授与 ・ 受入れ企業関係者による講評

地域共創委員会

■委員会・部会等

開催日	会合名	内 容
2025/09/30	第 1 回委員会 （福岡市）	＜議題＞ ・地域共創委員会の活動状況（報告） ＜講演＞ 演題：「本気のジェンダー・ギャップ解消がひらく地域の未来 ～豊岡メソッドに学ぶ人口減少時代の再生戦略～」 講師：特定非営利活動法人 Gender Action Platform 理事 大崎 麻子 氏 ＜参加者＞110 名

2025/09/30 ～10/01	大阪・関西万博 視察会 （大阪府）	＜視察先＞ 大阪・関西万博 ・PASONA NATUREVERSE ・シンガポールパビリオン ・NTT パビリオン ＜参加者＞15 名
2026/03/24	第 2 回委員会 （福岡市）	＜議題＞ ・2025 年度 地域共創委員会 事業報告(案) ・2026 年度 地域共創委員会 事業計画(案) ＜講演＞ 演題：「社会課題の解決を事業成長に変えるサステナビリティ戦略 ～JTB の「交流創造事業」における持続可能な価値創出の仕組み～」 講師：株式会社 JTB 代表取締役社長執行役員 山北 栄二郎 氏 ＜参加者＞100 名
地域づくり部会		
2025/08/4	第 1 回地域づくり部会 （福岡市）	＜報告＞ ・2025 年度「地域共創委員会」事業上期進捗・下期展開 ＜意見交換＞ ・九州域内における企業間人材マッチングについて ～共創文化の浸透、企業・人材双方の活性化～ ①「タレントシェア九州ラボ」事業の説明 九州経済産業局産業人材政策室 係長 大筋 暢洋 氏 ②アンケート結果の共有 ③意見交換 ＜参加者＞31 名
2026/02/24	第 2 回地域づくり部会 (福岡市)	＜報告＞ ・「地域共創委員会」2025 年度事業の取組状況 ・同 2026 年度事業計画 ＜意見交換＞ 「人材」の先へ ～九州経済発展への課題と具体策～ ①テーマ説明 「九州の経済成長における『事業成長人材』の必要性と地域全体で支援を拡大していく仕組み」 パーソルテンプスタッフ㈱ 執行役員 地域共創室管掌 鈴木 理裕 氏 ②意見交換 ・「事業成長人材の確保」について、特に取り組んでいくべきか（各社の人材に関する課題感を含めて確認） ・「九州ＣＸＯバンク構想」に対するご意見 （認知度、課題） ・ＡＩ導入による業務転換、採用への影響について （各社の課題感など） ＜参加者＞20 名
規制改革推進部会		
2025/08/28	第 1 回規制改革推進部会 (福岡市)	＜報告＞ ・2025 年度「地域共創委員会」事業の上期進捗・下期展開 ・2025 年度 経団連 規制改革要望 ＜意見交換＞ ・働き方改革関連法の弾力的な運用に向けて 講師：合同会社 ATDI 代表 九州大学ビジネス・スクール 講師 碇 邦生 様 ＜参加者＞9 名
2026/02/9	第 2 回規制改革推進部会 (福岡市)	＜報告＞ ・前回部会の振り返り 「働き方改革関連法の弾力的な運用に向けて」 ＜意見交換＞ ・九州版 「戦略産業クラスター計画」について 話題提供：㈱日本政策投資銀行 九州支店企画調査課長 森永 啓 様 ＜参加者＞10 名

農業・林業・水産業業部会		
2025/06/12	農業部会 (福岡市＆オンライン)	＜課題＞ ・2025 年度農業環境の国への要望事項について ＜意見照会＞ ・企業の農業労働力支援について ＜参加者＞ 14 名
2025/06/12	水産部会 （福岡市＆オンライン）	＜課題＞ ・2025 年度水産業環境の国への要望事項について ＜意見交換等＞ ＜参加者＞ 17 名 ＜講演＞ 演題：次世代養魚飼料の開発と次世代飼養技術の確立を目指して 講師：フィード・ワン株式会社 水産飼料部 水産研究所 係長 村山 慎哉 氏 飼料部 水産研究所 魚類防疫士 坂口 愛 氏
2025/12/05	農業部会 農業関係現場視察会	＜視察先＞ ①株式会社植木青果市場（熊本市北区植木町） ②佐賀市清掃工場（佐賀市高木瀬町） ③株式会社橋本農園の農場(ミニトマト温室施設)（佐賀市大和町） ＜参加者＞ 19 名
2026/02/19 ～20	水産部会 水産業関係現場視察会	＜視察先＞ ① 東町漁業協同組合（鹿児島県出水郡長島町） ②－1 深川水産株式会社（熊本県天草市牛深町） ②－2 有限会社苓南（同上） ③ 熊本県水産研究センター（熊本県上天草市大矢野町中） ④ 天草漁業協同組合 上天草総合支所 車えび養殖場（同上） ⑤ 株式会社天草海産（熊本県上天草市大矢野町） ＜参加者＞21 名
2026/02/25	水産部会 (福岡市＆ｵﾝﾗｲﾝ)	＜議題＞ ・2025 年度活動実績 ・2026 年度活動計画(案) ・2026 年度水産業関係要望事項(案) <意見交換> ・その他 各委員からの情報提供・意見交換 ＜参加者＞12 名
2026/03/03	林業部会 (福岡市＆ｵﾝﾗｲﾝ)	＜議題＞ ・2025 年度活動実績 ・2026 年度活動計画(案) ・2026 年度林業関係要望事項(案) <意見交換> ・その他 各委員からの情報提供・意見交換 ＜参加者＞25 名
2026/03/10	農業部会 (福岡市＆ｵﾝﾗｲﾝ)	＜議題＞ ・2025 年度活動実績 ・2026 年度活動計画(案) ・2026 年度農業関係要望事項(案) <意見交換> ・その他 各委員からの情報提供・意見交換 ＜参加者＞19 名
2026/03/25	林業部会 林業関係現場視察会 (佐伯市)	＜視察先＞ ・佐伯広域森林組合 ＜参加者＞19 名

■地域の「稼ぐ力」を高める（農林水産業）

開催日	会合名	内 容
地元食品産業等の販路拡大（九州の食輸出協議会）		
2025/11	九州フェア (カンボジア・イオン)	＜内容＞ 九州フェア開催／売上高 197 万円

2025/12 ～ 2026/01	九州フェア（マレーシア）	<内容> 九州フェア開催／売上高 42 万円
2026/03	九州フェア（台湾・大潤發）	<内容> 台湾小売店での九州フェア/売上 440 万円
九州中山間地域における耕作放棄地対策モデル（農研機構への委託研究）の紹介・展開		
2025/07/09	令和 7 年度九州スマート農業技術情報連絡会議	左記の情報連絡会議に出席し、農業分野における九経連の取り組みを紹介、「企業の農業参入による耕作放棄地対策とスマート農業 －九州経済連合会との共同研究－」について農研機構より発表 <主催> 九州農政局、農研機構九州沖縄農業研究センター <参加者> スマート農業実証プロジェクト関係者、農業支援サービス事業体関係者、生産方式革新実施計画認定者、九州 7 県スマート農業担当者 他
2025/10/20	九経連・経団連農業×企業タイアップセミナー	「企業の農業参入による耕作放棄地対策モデル」について、農研機構より発表 <参加者> 経団連及び九経連の会員企業および九州 6 県企業参入支援担当者
農業の体験者拡大		
2025/4/17～ 4/18	企業研修（新入社員研修）への農業カリキュラム導入	福岡市内の企業 久留米市内の農業法人 3 社、JA 施設 ラディッシュ等の収穫、袋詰め、ハウス内片付け他 11 人参加
2025/06/07	企業研修（新入社員研修）への農業カリキュラム導入	福岡市内の企業 うきは市内の農業法人、JA 施設 小麦の収穫他 10 名参加
2025/7/28～ 7/29	援農アプリ活用による農業ボランティア	福岡市内の企業 福岡県大木町の農業法人 トマト株の撤去作業他 5 名参加
2025/12/06	異業種・交流アグリボランティア	<主旨> 「農業現場を体験し、農や食を身近に感じる」「地元農産物の生産ルーツを学ぶ」「自然の中で異業種交流」 <概要> 久留米市内の農業法人 4 社 ビーツ等の収穫、袋詰め、草取り他 福岡市内の企業 8 社、16 名参加
企業の農業参入促進		
2025/10/20	九経連・経団連農業×企業タイアップセミナー（東京・経団連会館）	<概要> ・農業従事者の減少や耕作放棄地の拡大といった農業が直面する課題について、企業の農業参入をはじめとする経済界と農業界のタイアップを促進することにより諸課題に解決を図り、農業の活性化に繋げる。またセミナー後は九州各県産品の展示も含めた、九州各県・登壇者と企業参加者との交流会を開催 <基調講演> 演題：企業の農業参入による耕作放棄地対策モデル 講師：農研機構 企画戦略本部 農業経営戦略部部 部長 宮武 恭一 氏 <各県プレゼンテーション> 企業の農業参入状況、支援体制等について （佐賀県/熊本県/大分県/宮崎県） <事例講演> 演題：「南州エコプロジェクト㈱ 実績と課題」 講師：南州エコプロジェクト株式会社 代表取締役社長 森田 俊彦 氏 <交流会> 参加希望者と登壇者の交流会（各県産品も展示） <参加者> 78 名
九州産木材の利用促進		
2025/07/07	第 1 回モクビル研究会（福岡市＆オンライン）	<講演> 演題：「森林・林業の役割と木材利用の進展」 講師：大分県日田市副市長 服部 浩治 氏 <議論テーマ> ①モクビル研究会の時系列構想について ②具体的なモクビル普及対策について ③各県からの情報提供等
2025/11/26	第 2 回モクビル研究会（福岡市＆オンライン）	<報告及び意見交換等> ①川下での需要拡大 ・国への要望活動の報告 ②川上、川中、川下までの情報活用促進 ・各県の取組み状況報告各 5 分程度 ③川中からの情報提供 ・製材所調査を活用する為の環境整備について
2026/03/19	第 3 回モクビル研究会（福岡市＆オンライン）	<講演> 演題：「世界の中大規模木造建築と日本の役割 」 講師：ビルディングランドスケープ共同主宰、芝浦工業大学教授 山代 悟 氏 <報告及び意見交換等> ①川上（木材産業）への利益還元について いて ②事例紹介・情報共有等

■人の流れをつくる（観光振興）

開催日	会合名	内 容
ツール・ド・九州		
2025/10/10 ～10/13	ツール・ド・九州 2025	<開催概要> 開催地：福岡県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県（10 市町村） レース形式：転戦型ステージレース、クリテリウム 全走行距離 400km、獲得標高 6,008m 参加 18 チーム、選手 106 人（20 か国） カテゴリー：UCI アジアツアー2.1（クラス 1） 観客数：106,500 人 YouTube ライブ配信再生回数：250,000 回 経済波及効果：27 億 9,702 万円
2026/03/26	ツール・ド・九州 2026 記者発表（福岡市）	・ツール・ド・九州 2026 PR 動画放映 ・2026 大会 ロゴマーク発表 ・スポンサー発表（第一弾）
第三期九州観光戦略 第 2 次アクションプラン		
2025/09/03	第 8 回準備 WG（福岡市）	<議題> ・第 1 次アクションプランの取り組み状況 ・第 2 次アクションプランの策定に向けた意見交換 <出席者>18 名
2025/11/28	第 9 回準備 WG（福岡市）	<議題> ・第 2 次アクションプランの策定に向けた意見交換 <出席者>20 名
2026/01/26	第 10 回準備 WG（福岡市）	<議題> ・第 2 次アクションプランの策定に向けた意見交換 <出席者>18 名
2026/03/25	第 6 回委員会（福岡市）	<審議> ・第三期九州観光戦略 第 2 次アクションプラン（案）について <出席者>17 名

■共生社会（多様性）

開催日	会合名	内 容
ジェンダー平等推進（女性管理職ネットワーク「WE-Net 九州」）		
2025/5/22	第 2 回定例会（福岡市）	<概要> 九州圏内で活躍する女性リーダーの育成とネットワーキングの促進を目的に開催。2024 年度より、事務局を九経連に移管。活動期間：2024.12～2026.3 <内容> ・グループワーク （探求テーマへの理解/取り組み方針の決定） <参加者>32 名

2025/08/05	第 3 回定例会 （福岡市）	<内容> ・探求テーマ・進捗共有 <参加者>34 名
2025/11/07	第 4 回定例会 （福岡市）	<内容> ・中間発表 <参加者>32 名
2026/01/30	第 5 回定例会 （福岡市）	<内容> ・最終発表 <参加者>37 名

■地域課題解決
（人材確保・活躍推進）

開催日	会合名	内 容
人材共有モデル		
2025/08/04 ＊再掲	第 1 回地域づくり部会（福岡市）	＊前掲の「地域づくり部会」参照
2026/02/24 ＊再掲	第 2 回地域づくり部会（福岡市）	＊前掲の「地域づくり部会」参照
2025/09/04	「タレントシェア九州ラボ」 キックオフセミナー (福岡市)	<基調講演> 演題：「人的資本経営に正面から向き合う」」 講師：NTT 西日本㈱ 総務人事部 プロフェッショナル人材戦略部門 担当部長 / Culture Producer 及部 一堯 氏 <パネルディスカッション> パネリスト： NTT 西日本㈱ （以下同上） 及部 一堯 氏 福岡県プロフェッショナル人材センター 人材戦略マネージャー 百瀬 英典 氏 株式会社オキス 取締役 岡本 雄喜 氏 モデレーター： 経済産業省九州経済産業局 地域経済部 産業人材政策室 係長 大筋 暢洋 氏
2026/03/09	シンポジウム 「売上 100 億を超えていく“人”を軸にした経営革新」 （北九州市）	<基調講演> 演題：「人的資本経営に正面から向き合う」」 講師：西部ガスホールディングス㈱ 取締役常務執行役員 御手洗 淳 氏 <第 1 部> 演題：「人と組織を育む“越境”の時代」 講師：㈱越境イニシアチブ代表理事 原田 未来 氏 <第 2 部> パネルディスカッション パネリスト： 小平㈱ 副社長取締役 CHRO 兼 AI 推進室長 池田 亮平 氏 ㈱シンク・アイホールディングス 代表取締役・CEO 京谷 忠幸 氏 モデレーター： ㈱日経 BP 総合研究所 人的資本経営フェロー 一木 裕佳 氏
若者の流出を防ぐ		
2026/2/10	locus 成果報告 （大分市）	<概要> ・ツール・ド九州をきっかけに、福岡県・大分県・熊本県・長崎県・宮崎県の高校生たちが、自転車チームの様に地元企業と連携し、それぞれの地域が抱える課題について共に解決策を模索する。 （参加高校生 360 名、協力企業数 27 社、2 団体） ・探究学習の成果を、福岡県・服部知事、長崎県・馬場副知事、熊本県・木村知事、大分県・桑田副知事、宮崎県・河野知事へ、高校生から報告。
2026/2/12	locus 成果報告 （宮崎市）	
2026/2/13	locus 成果報告 （熊本市）	
2026/2/24	locus 成果報告 （長崎市）	

■安心して暮らしつづけられる

開催日	会合名	内 容
災害対応の広域化・迅速化・高度化		
2025/07/02	第 1 回勉強会 (大分市)	九州地域戦略会議「防災・減災高度化プロジェクト」実行のため、九州各県・山口県・沖縄県と九経連、研究機関等で計 5 回の合同勉強会を実施。 <議題> ・デジタル技術を活用した防災・減災対策（国・研究機関・民間の動き） ・各県の災害情報管理システムの状況 ・防災における先端技術活用の動向 ・南海トラフ等広域大規模災害時初動対応方針 （県職員派遣）
2025/09/03	第 2 回勉強会 (福岡市)	
2025/12/25	第 3 回勉強会 (福岡市)	
2026/02/06	第 4 回勉強会 (オンライン)	
2026/03/26	第 5 回勉強会 (宮崎市)	

交通委員会

開催日	会合名	内 容
2026/02/17	委員会 (福岡市)	<議題> ・ 2025年度活動報告 ・ 2026年度事業計画（案） 他 <勉強会> 演題：「地域創生を推進する交通まちづくり～世界のモビリティ最新動向と九州 MaaS への期待～」」 講師：一般財団法人計量計画研究所理事 CoIU(コーアイユー) 教授 博士(工学) 牧村 和彦 氏
2025/07/10	第 1 回企画部会 (福岡市)	<議題> ・ 交通基盤整備に関する要望(案) ・ 2025年度第1四半期活動報告 <講演> 演題：「地域交通の未来を支える交通 DX の取組」 講師：株式会社電脳交通 代表取締役社長 CEO 近藤 洋祐 氏
2026/01/29	第 2 回企画部会 (福岡市)	<議題> ・ 2025年度活動報告 ・ 2026年度事業計画（案） <講演> 演題：「空飛ぶクルマが拓く、近未来のモビリティ革命」 講師：ANA ホールディングス㈱ 未来創造室 モビリティ事業創造部（兼） 全日本空輸㈱ 経営戦略室 部長 （MaaS 推進担当） 鈴木 謙次 氏
2025/08/5	九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望	<要望先> 中野 洋昌国土交通大臣 （郵送）内閣府、財務省、経産省、国交省、国会議員等

関門連携委員会

開催日	会合名	内 容
2025/10/08	第 1 回委員会 （書面開催）	<議題> 関門地域の活性化推進に関する要望(案)
2026/03/11	第 2 回委員会 （北九州市）	<議題> ・2025 年度実施状況報告 ・2026 年度事業計画(案) <講演> 演題：「次期（第 3 次）自転車活用推進計画とサイクルツーリズムについて」 講師：国土交通省 道路局参事官(自転車活用推進) 自転車活用推進本部事務局 次長 土田 宏道 氏

2025/10/30	関門地域を"もっと面白くする"ワークショップ (北九州市)	・動詞抽出調査法によるワークショップ ・フィールドワーク（まち歩き） 講師：山口県立大学　国際文化学部 教授/博士　斉藤　理 氏
下関北九州道路整備促進大会		
2025/08/19	下関北九州道路整備促進大会 （北九州市）	＜主催団体＞　9 団体 ・下関北九州道路建設促進協議会 ・中国経連、九経連、関門連携委員会 ・下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟 ＜大会決議＞ 1.国と2県2市が緊密に連携・協力し、都市計画や環境影響評価の手続きを着実に進めること 2.早期事業化に向けて、有料道路事業の導入など、効果的な整備手法を決定すること 3.地域の観光資源としてのポテンシャルを高め、地域活性化に繋がる道路となるよう検討すること
2025/11/10	下関北九州道路整備促進大会 (中央大会) (東京都千代田区)	＜主催団体＞ 地方大会と同じ 9 団体 ＜大会決議＞ 1.利用者負担を基本とした有料道路事業を最大限に活用するなど、効果的な整備手法を決定すること 2.新規事業化に向けた手続きを着実に進めること 3.地域の観光資源としてのポテンシャルを高め、地域活性化に繋がる道路となるよう検討すること
要望活動		
2025/08/16	下関北九州道路の早期実現に関する要望 （郵送）	＜要望団体＞ ・下関北九州道路建設促進協議会 ・関門連携委員会 ＜要望先＞ 国土交通省、内閣府、財務省、経済産業省 九州選出国会議員　等
2025/11/10	下関北九州道路中央要望 （東京都）	＜要望団体＞ ・地方大会と同じ 9 団体 ＜要望先＞国土交通省、財務省、自民党
2025/11/27	関門地域の活性化推進に関する要望 （東京都）	＜要望団体＞ ・関門連携委員会 ＜要望先＞国土交通省、内閣府、財務省等

地域委員会

開催日	会合名	内 容
北九州		
2025/11/04	山口・北九州合同地域委員会 (下関市)	＜講演＞ 「"グローバルな目的地"と"ローカルな生活圏"を両立させる地域づくり」 ㈱Staple　岡 雄大　氏 ＜意見交換会＞ ・下関北九州道路整備促進について ・人手不足、技術職不足への対応について ・少子高齢化の対応について ・会長との意見交換
2026/02/02	北九州地域委員会　ＧＸバスツアー (北九州市)	＜視察会＞ 昨年度のＧＸ推進に関する講演に引き続き、更なる理解促進のため、響灘の入り口に位置する「エコタウンセンター」をはじめ、「リサイクル」「洋上風力」に関する施設の現地視察を実施 （視察先） ①北九州エコタウンセンター（北九州エコタウン事業説明） ②㈱リサイクルテック（太陽光パネルリサイクル施設） ③ひびきウインドエナジー㈱（洋上風力発電）
筑後		
2025/09/18	筑後地域委員会 （久留米市）	＜講演＞ 「筑後地域におけるワンヘルス事業」 ㈱中村製紙所 代表取締役社長 中村 健一 氏 ＜意見交換＞ ・大牟田駅周辺及び新栄町周辺の再開発 PJ の推進について事例紹介（アーバンデザインセンターおおむた） ・半導体人材育成に向けたサーキットデザイン教育センターの設立について事例紹介（有明高専） ・卒 FIT 後の新たな運用方法（売電等）について ・中山間地の維持存続について ・ワンヘルスに対する取り組みについて ・会長との意見交換
2025/10～	筑後地域委員会 ワンヘルスプロジェクト会議	＜目的＞ 筑後地域でのワンヘルス政策を核とした産業創出の検討・協議 ＜座長＞ ㈱中村製紙所　社長　中村健一 氏 ＜開催＞ 10/24 第1回プレ会合（福岡市） 11/26 第2回プレ会合（福岡市） 01/29 第1回会議（久留米市） 02/25 第2回会議（久留米市） 03/24 第3回会議（久留米市）
佐賀		
2025/10/07	第1回佐賀地域委員会（佐賀市）	＜講演＞ 「北陸新幹線などの事例から見る新幹線が地域にもたらす影響」 富山国際大学 現代社会学部 観光専攻 教授・専攻長　大谷 友男　氏 ＜意見交換＞ ・九州 MaaS の取組みについて ・木材利用の推進とコストについて ・木材サプライチェーンの活性化に向けた取組みについて ・会長との意見交換
2025/11/18	第2回佐賀地域委員会（別府市、九重町、日田市）	＜視察会＞地域 GX につながる林業と他業界の連携可能性を考えるべく視察会を実施 （視察先） 立命館アジア太平洋大学 九州林産㈱ 瀬戸製材㈱
長崎		
2025/10/29	長崎地域委員会 （佐世保市）	＜講演＞ 「県北地域の振興について」 長崎県知事　大石　賢吾　氏 ＜意見交換＞ ・探究学習プログラム Locus の拡大について ・医療提供体制の再構築 ・交通インフラの整備について ・会長との意見交換
熊本		
2025/08/26	熊本地域委員会 （熊本市）	＜講演＞ 「大学を基盤としたグローバル半導体エコシステム＝NYCU を例として」 国立用命交通大学　電機学院電信所 講座教授　寒川 誠二　氏 ＜本部報告＞ 新生シリコンアイランド九州実現に向けた九経連の取組
2026/03/16	熊本・鹿児島合同地域委員会 (熊本市)	＜講演①＞ 「デジタルインフラが支える AI 産業の進化と九州への期待」 ㈱QTnet 執行役員/九州デジタルインフラフォーラム副代表　穂坂 俊之　氏 ＜講演②＞ 「トライアルグループが考える小売業の「DX～テクノロジーと、経験知で、世界のリアルコマースを変える。～」 ㈱トライアルホールディングス 副会長 亀田 晃一 氏

大分		
2025/09/10	大分地域 委員会 (大分市)	＜大分地域委員会総会＞ ＜意見交換＞ ・大分県の地域課題について ・広域交通ネットワークの早期構築及び強靭化 ・会長との意見交換
宮崎		
2026/01/16	宮崎地域 委員会 (宮崎市)	＜講演＞ 「ツール・ド・九州の取り組みについて」 （一社）ツール・ド・九州 大会ディレクター 中川 信治 氏 ＜意見交換＞ ・交通インフラについて ・若者定着に向けた取り組みについて ・会長との意見交換
鹿児島		
2025/08/25	鹿児島地域委員会 (鹿児島市)	＜講演＞ 「再生可能エネルギーの主力電源化等への取組に関する動向について」 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 再生可能エネルギー部 風力・海洋ユニット チーム長 大庭 宏介 氏 ＜事例紹介＞ 再生可能エネルギーの導入に向けた鹿児島県の取組 鹿児島県 商工労働水産部長 北村 貴志 氏 ＜意見交換＞ ・脱炭素に向けた企業の取組みについて ・会長との意見交換
2026/03/16	鹿児島・熊本合同地域委員会 (熊本市)	＜講演①＞ 「デジタルインフラが支える AI 産業の進化と九州への期待」 ㈱QTnet 執行役員/九州デジタルインフラフォーラム 副代表 穂坂 俊之 氏 ＜講演②＞ 「トライアルグループが考える小売業の「DX～テクノロジーと、経験知で、世界のリアルコマースを変える。～」 ㈱トライアルホールディングス 副会長 亀田 晃一 氏
山口		
2025/11/04	山口・北九州合同地域委員会 (下関市)	＜講演＞ 「“グローバルな目的地”と“ローカルな生活圏”を両立させる地域づくり」 ㈱Staple 岡 雄大 氏 ＜意見交換会＞ ・下関北九州道路整備促進について ・人手不足、技術職不足への対応について ・少子高齢化の対応について ・会長との意見交換

Ⅳ　国内外の団体等との活動・経済交流等

九州地域戦略会議

開催日	会合名	内　容
2025/05/28 ～29	第４７回九州地域戦略会議 （福岡市）	＜審議＞ ・第３期九州創生アクションプラン（案）について ・研究組織について ＜報告＞ ・九州地域戦略会議 台湾訪問団の派遣について ・第２２回夏季セミナーについて ・九州国立博物館開館２０周年記念事業について ・社会全体における「価格転嫁の商習慣の定着」について ・九州・沖縄地方創生・産業振興懇談会について
2025/10/27 ～28	第４８回九州地域戦略会議 (名護市)	＜審議＞ ・第３期九州創生アクションプラン ①　子育てランド九州　ＰＪ ②　新生シリコンアイランド九州　ＰＪ ③　「九州の食」輸出促進　ＰＪ ④　サイクルツーリズムの聖地・九州　ＰＪ ・広域リージョン連携 ・研究組織 ・予算・決算、監事選任 ＜報告＞ ・第２２回夏季セミナー ・日本創生に向けた人口戦略フォーラム in ながさき
2025/04/11	幹事会 (宮崎市)	＜議題＞ ・第47回九州地域戦略会議の進行要領(案)について ・第47回九州地域戦略会議　議題について
2025/08/29	幹事会 (オンライン)	＜議題＞ ・第48回九州地域戦略会議の進行要領(案)について ・第48回九州地域戦略会議　議題について
2026/01/29	幹事会 (オンライン)	＜議題＞ ・新規QXプロジェクト（案）について ・第２３回夏季セミナーについて ・第３期九州創生アクションプランに関する令和８年度以降の審議（案）について ・議事概要の公開（案）について ・第４９回九州地域戦略会議日程(案)・議題について
2025/08/05 ～06	第 22 回 夏季　セミナー （鹿児島市）	＜テーマ＞ 九州が牽引する日本の地方創生 ＜基調講演＞ 演題：「半導体政策の現在地と今後の展開 ～九州経済が日本を牽引する」 講師：経済産業省 商務情報政策局長 野原　諭 氏 ＜第１分科会＞ テーマ：ドローンをはじめとする次世代モビリティ 座長：長崎大学　副学長(産学連携担当) 山本　郁夫 氏 ＜第２分科会＞ テーマ：産学金官連携によるエコシステムの形成を通じた新生シリコンアイランド九州の実現 座長：熊本県立大学　理事長　黒田　忠広　氏 ＜第３分科会＞ テーマ：宇宙産業から考えるイノベーションの創出と産業振興について 座長：(地独)山口県産業技術センター　理事長 小関　浩幸　氏 ＜第４分科会＞ テーマ：「働き方改革」の改革を考える 座長：九州経済同友会　代表委員 （九州旅客鉄道㈱　取締役会長） 青柳　俊彦 氏 福岡経済同友会　代表幹事 （㈱安川電機　代表取締役会長） 小笠原　浩 氏

再生可能エネルギーへの取組		
2025/09/05	再生可能エネルギー産業化推進委員会 第１回委員会 (福岡市)	＜議題＞ ・　実務者会議（地熱、海洋、水素）からの報告 再生エネルギー産業化推進委員会および実務者委員会の今後の在り方について
2026/03/26	再生可能エネルギー産業化推進委員会 第２回委員会 (福岡市)	＜議題＞ ・　実務者会議（地熱、海洋、水素）からの報告 再生エネルギー産業化推進委員会および実務者委員会の今後の在り方について
2025/08/26	第１回地熱・温泉熱エネルギー産業化実務者会議 (長崎市)	＜議題＞ ・　APに関する状況報告等（各委員等） ・　APの改定について（事務局） ・　再生エネルギー産業化推進委員会実務者委員会 検討の方向性 ＜講演＞ ・資源エネルギー庁　田平氏
2026/01/26	第２回地熱・温泉熱エネルギー産業化実務者会議 (福岡市)	＜議題＞ ・　APに関する状況報告等（各委員等） ・　再生エネルギー産業化推進委員会 方向性の検討 ＜視察会＞ ・櫛田神社前駅(地中熱利用)
2025/08/25	第１回海洋エネルギー産業化実務者会議 (オンライン)	＜議題＞ ・海エネAPに係る令和７年度の取組状況 ・海洋エネルギー産業化のためのKPI 進捗状況について ・令和７年度合同活動等の開催状況 ・AP及び本実務者会議の見直しについて
2026/02/03	第２回海洋エネルギー産業化実務者会議 (オンライン)	＜議題＞ ・海エネAPに係る令和７年度の取組状況 ・海洋エネルギー産業化のためのKPI 進捗状況について ・令和７年度合同活動等の開催状況 ・再エネ推進委員会での議論動向及び今後の実務者会議の方向性について
2025/07/25	第１回水素エネルギー産業化実務者会議 (福岡市)	＜議題＞ ・　APの改定 ・　再エネ推進委員会の今後の方針と及び今後の実務者会議の方向性 ＜講演＞ ・テクノバ㈱　　丸田　昭輝　氏 ・九州電力㈱　内田　康史　氏 ・大分県　　阿部　竜也　氏
2026/02/06	第２回水素エネルギー産業化実務者会議 (福岡市)	＜議題＞ ・　2025 年度第１回再生可能エネルギー産業化推進委員会での議事報告 来年度以降の実務者会議の進め方について　他

経済団体等との懇談

開催日	会合名	内　容
九州経済を考える懇談会		
2025/07/04	第１回懇談会 (福岡市)	＜議題＞ ・第47回九州地域戦略会議の総括と今後の対応について ・「働き方改革」の改革について
2026/02/10	第２回懇談会 (福岡市)	＜議題＞ ・九州経済の中長期課題について（人材戦略） ・九州地域戦略会議について ・九州における「価格転嫁の商習慣」の定着に向けて
北海道経済連合会との連携協定（ＭＯＵ）		
2026/01/20	北海道経済連合会との連携協定（ＭＯＵ）締結式 (札幌市)	＜協定書＞ ・両地域の経済・情報・人的交流等に取り組むことにより、両地域の経済活性化や共通課題の解決等を通じて、我が国の経済安全保障と食料安全保障に貢献することを目的とする。 半導体・ＧＸ関連産業に関すること 農林水産業・食品関連産業に関すること 観光関連産業に関すること その他両社が必要と認めること

九州経済団体　総務担当者会議		
2025/04/08 2025/05/09 2025/06/13 2025/07/02 2025/08/01 2025/09/02 2025/10/01 2025/11/05 2025/12/02 2026/01/14 2026/02/04 2026/03/04	4 月例会 5 月例会 6 月例会 7 月例会 8 月例会 9 月例会 10 月例会 11 月例会 12 月例会 1 月例会 2 月例会 3 月例会 (福岡市)	＜議題＞ 各団体の活動状況報告とスケジュール共有

海外との経済交流

開催日	会合名	内 容
環黄海（中国・韓国）経済交流事業		
2025/11/19 ～11/20	第 23 回環黄海経済・技術交流会議 (韓国大田広域市)	＜テーマ＞ 「環黄海経済圏の成長・発展 ～バイオヘルスケア・科学技術(AI)・ビジネス交流～」 ＜環黄海ビジネスフォーラム＞ (九州側登壇者) ・「規格外野菜を活用した“新食材・野菜シート”」 ㈱アイル 代表取締役　早田 圭介 氏 ・「海藻由来の塩分オフセット技術で、おいしいも健康もあきらめない世界を創る」 トイメディカル㈱ 代表取締役社長 竹下 英徳 氏 ・「Re:Design 持続可能社会を魅力に変える仕組み」 ㈱ACTA PLUS 代表取締役　橋本 季和子氏 ・「科学技術による環黄海経済圏の持続的成長に向けた取組」 ㈱スーパーワーム 財務・経営企画マネージャー　宮崎　潤 氏
		＜環黄海経済・技術交流会議 本会議＞ (地域間協力に関する事業紹介) ・「日中韓協力の実態と TCS の役割」 日中韓三国協力事務局(TCS) 事務次長　図師 執二 氏 (九州側登壇者) ・「美と健康をつなぐ化粧品産業ー環黄海圏におけるバイオ・ヘルスケアの可能性」 (一社)ジャパン・コスメティックセンター 事務局長 藤岡 継美 氏 ・「バイオ 3D プリンターを用いた再生医療と新産業の創出」 ㈱サイフューズ 代表取締役　秋枝 静香 氏 ・「AI カメラで切り開く牛の畜産における新しい働き方」 ファーマーズサポート㈱ 代表取締役 春日 良一 氏
韓国との経済交流事業		
2025/11/18	九州・韓国経済協力会議 2025 (韓国大田広域市)	＜内容＞ 九州と韓国双方の資金、技術、人材等の地域資源を相互補完し、貿易、投資及び産業技術の交流拡大と地域間交流の促進を目的に開催。2025 年は「日韓国交正常化 60 周年、地域経済の成長と発展に向けて～共通利益の創出・最大化～」をテーマに、地域・企業・機関間の交流・協力に関する事例発表と意見交換を実施 ＜出席者＞ 【九州側】 22 名 (一社)九州経済連合会 会長　池辺 和弘 【韓国側】 60 名 (社)韓日経済協会 常勤副会長　徐　錫崇 氏 ＜九州からの発表者＞ ・(一社)Global Generation 推進機構 理事長　山下 未笑 氏 専務理事 鈴木 重幸 氏 ・㈱やまやコミュニケーションズ 海外事業本部長 許　玟寧 氏 ・福岡県日韓親善協会 副会長　村井 正隆 氏

ベトナムとの経済交流事業		
2025/07/10	ベトナムの次世代 リーダーとの意見交換会 (福岡市)	＜内容＞ 独立行政法人国際協力機構(JICA)が主催し、(一財)日本国際協力センター(JICE)が JICA と連携して企画・運営する「ベトナム戦略的幹部研修プロジェクト」の一環として、ベトナム政府の国、省の副大臣及び局長レベルの方など16名が福岡を訪問。ベトナムと関係の深い会員企業や関係団体が参加し、意見交換会を実施 ＜団長挨拶＞ ホーチミン国家政治学院 副学院長 レ・ヴァン・ロイ氏 ＜プレゼンテーション＞ ベトナム科学技術省 副大臣　ブイ・ホアン・フォン氏 西日本鉄道㈱ 常務執行役員　佐藤 仁俊 氏 九州経済産業局 地域経済部 情報政策課長 樋上 武 氏
2026/03/25	九州企業とベトナム地方都市の新たな連携セミナー （オンライン）	＜内容＞ ベトナムにおける地方都市との連携をテーマに、今後の成長が見込まれるドンナイ省を例として、現地の投資環境やビジネス動向、現地企業・現地人材との連携の可能性、ベトナム地方都市におけるビジネスの実態や将来性について多方面から紹介するセミナー ＜講演＞ ・「ドンナイ省の経済状況と今後の展望について」 ドンナイ省工業団地・経済特区管理委員会 ファム・ヴィエット・フオン 氏 ・「ベトナムの経済概況とビジネス連携の可能性について」 ジェトロ・ホーチミン事務所 調査ダイレクター 新田 和葉 氏 ・「ドンナイ省における工業団地の開発の状況と今後の展望」 双日㈱ 航空・社会インフラ本部　村上 裕紀 氏 ・「ドンナイ省におけるビジネスの現状と日系企業と連携の可能性」 ㈱タカヨシジャパン 代表取締役　髙島 小百合 氏 ・「ベトナムにおけるビジネス展開に向けた取組支援」 九州経済産業局 国際部 国際事業課
タイとの経済交流事業		
2025/10/14 ～10/18	九州・タイ経済交流ミッション 2026 事前協議 (タイ・バンコク)	＜内容＞ 2026 年 2 月の「九州・タイ経済交流ミッション」派遣に向けて現地関係者との事前協議を実施。本番での訪問先や現地での実施プログラム、行程などを詳細に確認。 ＜主な訪問先＞ タイ投資委員会（BOI）、タイ高等教育・科学・研究・イノベーション省（MHESI）、タイ王国中小企業発展研究所(ISMED)、タイ工業連盟、タイ商工会議所、 ジェトロ・バンコク、ナワミンタラティート大学
2026/02/24 ～02/28	九州・タイ経済交流ミッション 2026 (タイ・バンコク)	＜内容＞ 高齢化が進むタイ側のビジネスニーズを踏まえ、ヘルスケア産業分野を中心とした九州企業・団体で構成するミッション団を派遣。現地でのビジネスパートナー・連携先との接点形成を目的としたタイ企業とのビジネスミーティングや、医療関連施設、政府機関との意見交換・視察を実施。 ＜主催＞九州経済国際化推進機構 (九州経済産業局、九州経済連合会) ＜団長＞九州経済国際化推進機構 幹事長 堀江 広重（九州経済連合会 専務理事） ＜参加＞17 社 25 名（現地参加者含めると 33 名） ＜主なプログラム＞ ・ 九州企業とタイ企業とのビジネスミーティング（MOU 締結先「タイ投資委員会(BOI)」との共催） ※タイ企業との個別面談約 50 件、ネットワーキング ・ プリンススワンナプーム病院訪問（意見交換・視察） ・ バーンボージェネラル病院訪問（意見交換・視察） ・ タイ高等教育・科学・技術・イノベーション省（MHESI）との意見交換会、九州企業による事業紹介プレゼンテーション、 ・ タイ商工会議所・タイ財閥系企業との意見交換会 ・ タイ財閥系企業が開発中のウェルネス施設視察（ザ・フォレスティアス、アスペン・ツリー） ・ パラマウントベッド・タイランド社訪問・意見交換

インドとの経済交流事業

2026/03/10	九州商工会議所連合会とインド商工会議所連合会との MOU 署名式への参加 (福岡市)	<内容> 本会が 2014 年に MOU を締結したインド商工会議所連合会(FICCI)約 40 名が福岡を訪問。九州商工会議所連合会と新たに MOU を締結することとなり、本会も署名式に参加。来日した FICCI のロヒット・レラン印日経済委員会共同委員長(訪問団長)などのメンバーと懇談。 <歓迎挨拶> 在福岡インド総領事館 総領事 ラムクマール C 氏 <MOU 署名式> 九州商工会議所連合会 会長 谷川 浩道 氏 インド商工会議所連合会 印日経済委員会 共同委員長 ロヒット・レラン 氏
2026/03/23	九州×インド ビジネス勉強会:現地ミッション報告と交流への展望 (オンライン)	<イントロダクション> ジェトロ福岡 所長 古川 毅彦 氏 <ミッション報告> ・「インドネットワークの獲得および九州とインドとの食品、観光、ベンチャービジネス可能性調査」 福岡商工会議所 産業・貿易振興部長 田中 大輔 氏 ・「インド産業最前線視察」 (公社)福岡貿易会 事務局長 西依 正博 氏 ・「Let's Meet India, Let's Go To India! ～成長する経済・ビジネスに触れるインド視察～」 (一社)福岡中小企業経営者協会 参事 二宮 裕一郎 氏

主な来訪、訪問、面談など

2025/04/16	マレーシア	マレーシア投資開発庁(MIDA)大阪事務所・ムザイリ所長訪問
2025/04/18	アメリカ	在福岡アメリカ領事館・アシーケ首席領事来訪(離任挨拶)
2025/04/21	台湾	台湾貿易投資センター開所式参加 (会長挨拶)
2025/05/07	アメリカ	国務省 東アジア・太平洋局 マレーAPEC 担当上級代表(大使)来訪
2025/05/19	フランス	在日フランス商工会議所・シュシャン会頭、 在京都フランス総領事館・ムシェ総領事との懇談
2025/07/02	インド	在福岡インド総領事館・ラムクマール総領事来訪(着任挨拶)
2025/07/03	香港	香港貿易発展局 大阪事務所 フォン所長来訪
2025/09/11	中国	駐日中国大使館・趙宝鋼公使来訪
2025/09/11	台湾	アジア太平洋学術産業連携協会・柯(Ko)理事長来訪
2025/09/19	中国	厦門(アモイ)市企業経済貿易訪問団来訪
2025/09/24	アメリカ	在福岡アメリカ領事館・パーキンス首席領事との懇談
2025/09/24	ベトナム	ドンナイ省工業団地管理委員会 フォン・ジャパンデスクリーダー来訪
2025/09/25	ベトナム	在福岡総領事館開設 15 周年記念式典 (倉富名誉会長表彰受賞)
2025/10/11	オーストリア	ハプスブルク大公来日記念講演＆ウィーンミュージカルコンサート開催 (倉富名誉会長が実行委員長)
2025/12/10	韓国	産業通商部 経済自由区域企画団 諸京姫団長来訪
2026/01/21	アメリカ	米国大使館 政治部 コリン・フィシャウィックー等書記官来訪
2026/01/29	台湾	台湾日本関係協会 郭智輝理事来訪
2026/02/13	タイ	在福岡タイ王国総領事館ゴーソン・サティタマジット総領事来訪
2026/02/26	タイ	タイ投資委員会 外資系投資マーケティング部・アニン部長と懇談
2026/03/10	インド	インド商工会議所連合会印日経済委員会レラン共同委員長と懇談

V 関連協議会等活動

西日本経済協議会

開催日	会合名	内 容
2025/04/07	第１回専務理事会議 (大阪市)	<議題> ・ 2025年度の活動の進め方等 ・ 2025年度分科会の取組み ・ 各経連2025年度の事業計画と重点取組事項
2025/05/16	第１回担当者会議 (大阪市)	<議題> ・ 2025年度の活動の進め方等 ・ 分科会の取組みについて ・ 当面の予定と依頼事項
2025/07/08	第２回担当者会議 (大阪市)	<議題> ・ 西日本経済協議会　総会及び要望活動の進め方等について ・ 決議文（要望書）案について
2025/08/19	幹事会・第２回専務理事会議 (滋賀県近江八幡市)	<幹事会議題> ・ 第67回総会　開催概要 ・ 総会決議文（案） ・ 要望活動 ・ 分科会の進捗状況 ・ 分担金について <専務理事会議議題> ・ 経連間意見交換
2025/10/16	第 67 回総会 (京都市)	<議題> ・ 前年度活動報告 ・ 各地経済連合会からの発言 ・ 各分科会活動報告 ・ 決議採択 <講演> 演題：「我が国の文化政策とコンテンツ産業の振興について」 講師：文化庁長官　都倉 俊一 氏
2025/11/13	要望活動 (東京都)	<要望先> 首相官邸、経済産業省、国土交通省、総務省、復興庁、自由民主党本部

九州航空宇宙開発推進協議会

開催日	会合名	内容
2025/05/30	第１回幹事会 (福岡市＆オンライン)	<議題>(総会議案の事前審議) ・ 2024年度事業報告、決算報告 ・ 2025年度事業計画案、収支予算案、役員選任案
2025/06/06	総会 (福岡市＆オンライン)	<議題> ・ 2024年度事業報告、決算報告 ・ 2025年度事業計画案、収支予算案、役員選任案（審議）、幹事選任案（報告） <特別講演会> 演題「あなたが宇宙活動に挑戦する時代へ～宇宙戦略基金と J-SPARC 共創～」 講師 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙戦略基金開発事業部 マネジメントグループ長 兼 新事業促進部 事業開発グループ長　高田 真一 氏
九航協航空産業連絡会議（新 QAN）		
2025/04/24	第 1 回定例会議 （福岡市）	<議題> ・ 九航協航空産業連絡会議（新QAN）活動計画 ・ (活動体制、活動方針、活動計画など) ・ 経済産業省 九州経済産業局　取組紹介 ・ 各自治体の航空機産業の支援策紹介 ・その他（エアロマート名古屋について）
2025/08/25	第 2 回定例会議(福岡市＆オンライン)	<議題> ・ 九航協航空産業連絡会議（新QAN）活動報告) 1）航空機関連施設 視察会（報告、第２回案内） 2）エアロマート名古屋 2025 出展 3）その他事務連絡 ・ 防衛装備庁 取組紹介 <講演> 演題：「航空機産業の動向と中小企業に求められるもの、成長を支える取組み」 講師：公益財団法人 新産業創造研究機構（NIRO）航空･宇宙部　山北 晃久 氏
2025/09/24～26	エアロマート名古屋	・ 会員の新 QAN６社 合同出展 ・ 商談を会場内で実施（10 件） 会場内で他地域のクラスターと意見交換を実施
2025/11/13	第 3 回定例会議(福岡市＆オンライン)	<議題> ・ 九航協航空産業連絡会議（新QAN）活動報告 1）エアロマート名古屋 2025 出展報告 2）第２回視察会（川崎重工 岐阜工場）報告 3）航空専門家アドバイザーについて 事務連絡（新規会員紹介）
2026/02/19	第 4 回定例会議（福岡市，ﾘﾓｰﾄ併用）	<議題> ・ 2025年度活動報告2026年度活動計画案 ・ 2026年度活動計画案についての協議 <講演> 演題：「神戸エアロネットワークの紹介と航空機エンジンの動向」 講師： 第１部 公益財団法人こうべ産業･就労支援財団 産業イノベーション推進部航空機産業部 部長　池内 洋一 氏 第２部 川崎重工業㈱ 航空･宇宙システムカンパニー 航空エンジンディビジョン エンジン生産総括部 エンジン SC 企画部 SC 構築推進課 課長　水野 裕介 氏
2025/07/3,4	第１回視察会	・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA) 調布航空宇宙センター、日本飛行機㈱ 横浜工場 視察 （参加者：9 社･団体、12 名）
2025/10/29	第２回視察会	・ 川崎重工業㈱ 航空･宇宙システムカンパニー 岐阜工場 視察 （参加者：10 社･団体、23 名）
宇宙ビジネス交流会		
2025/12/09	第 5 回九州宇宙開発ビジネス交流会（熊本県） くまもと技術革新･融合研究会シンポジウム共催 場所：熊本市民会館シアーズホーム夢ホール	<講演> ・「我が国の宇宙産業政策の動向と今後の方向性」 経済産業省 製造産業局 宇宙産業課 課長補佐（総括）岩永 健太郎 氏 ・「未来を切り開く九州の宇宙ビジネス～人工衛星市場参入の手引き～」 九州経済産業局 地域経済部 製造産業課 係長 亀口 豪 氏 ・「シン･宇宙経済」 宇宙エバンジェリスト® Space Port Japan 創業理事 青木 英剛 氏 ・「九州工業大学発 衛星開発スタートアップの挑戦」 Kick Space Technologies㈱ 代表取締役 CEO 佐藤 凜 氏 ・「月面での無線電力伝送用を目指した高周波GaNデバイスの研究開発」 熊本大学半導体･デジタル研究教育機構 教授 分島 彰男 氏 <参加者数>　(現地)76 名（オンライン）231 名

種子島ロケットコンテスト		
2026/03/05 ～09	第 22 回種子島ロケットコンテスト大会	<技術発表会>　・ロケット部門 / CanSat 部門 <プレゼンコンテスト>　・ロケット部門 / CanSat 部門 <ワークショップ>　・ロケット部門 / CanSat 部門 参加者：100 チーム（479 名）協賛企業 13 社
オール九州による宇宙開発促進に向けた既存射場の活用研究会		
2026/02/18	内之浦射場活用研究会 （福岡市&オンライン）	・「九州域内における宇宙開発促進に関する要望書」内容見直し 参加者：28 名（内 Web14 名）

知的財産権研究会

開催日	会合名	内 容
2025/04/18	第 423 回定例会 (福岡市)	・「AI 生成物の著作物性及び権利侵害主体について」 墾丁法律事務所　林 娜 氏 ・「結合商標の類否判断～審判実務者研究会報告書 2021-2024 より～」 ㈱タカギ　大山 浩志 氏
2025/05/16	第 424 回定例会 (福岡市)	・「標識保護と需要者アンケート調査」 佐賀大学　孫 友容 氏 ・「特許検索競技大会出場のお勧め」 ㈱パソナナレッジパートナー 戸田 俊之 氏、湯川 光之 氏
2025/06/20	第 425 回定例会 (福岡市)	・「数値限定発明の弊害に関する企業側考察」 ＴＯＰＰＡＮ㈱ 嶺岸 隆行 氏 ・「情報セキュリティ 10 大脅威 2025 と知的財産情報を守り抜く具体的対策 ～クライシスコミュニケーションと技術的対策」 ・三井物産セキュアディレクション㈱ 藤岡 福資郎 氏、安元 英行 氏
2025/07/18	第 426 回定例会 (福岡市)	・「先使用権について（同一性に関する検討）」 日本製鉄㈱　未永 哲也 氏 ・「電子鍵盤楽器を取巻く最新動向」 パナソニック IP マネジメント㈱ 下田 晴朗 氏
2025/08/22	第 427 回定例会 (福岡市)	・「除くクレームについて ～主に電気・ソフトウェア分野の事例の紹介～」 東京エレクトロン九州㈱ 山崎 夏樹 氏 ・「著作権侵害における損害賠償論 －１１４条３項を中心に－」 鴻和法律事務所　中山 岳洋 氏
2025/09/19	第 428 回定例会 (福岡市)	・「大家重夫先生 追悼報告 －明治・版権条例下における「著作権」事件の検討－」 ・東京大学法科大学院　古場 和美 氏 「数値限定のある発明と特許権侵害」 福岡工業大学 橘 雄介 氏
2025/10/17	第 429 回定例会 (福岡市)	・「応用美術の法的保護に関する一考察」 九州大学 安東 奈穂子 氏 ・「著作権法の刑事的エンフォースメント ―媒介者の刑事責任を中心に―」 関西学院大学法学部　谷川 和幸 氏
2025/11/21	第 430 回定例会 (福岡市)	・「商標法の不使用取消審判における近時の論点」 福岡大学法学部 平澤 卓人 氏 ・「産学連携に係る知財活動を振り返って ～大学での知財活動～」(元)北九州産業学術推進機構　早木 敬二 氏
2025/12/19	第 431 回定例会 (北九州市)	・「みらい館＆ロボット工場」見学　安川電機㈱ 「2025 年の振り返り～国内外の重要トピックスのご紹介～」 ・創英国際特許法律事務所 松尾 茂樹 氏
2026/01/16	第 432 回定例会 (福岡市)	・「シートカッター事件について」 三菱造船㈱　谷口 真一 氏 ・「先使用権とタイムスタンプ」 ㈱西部技研 下茂野 香名江 氏
2026/02/20	第 433 回定例会 (福岡市)	・「設計事項の判断について」 日本タングステン㈱ 黒木 陽子 氏 ・「公正取引委員会による知的財産対象優越的地位濫用実態調査」 筑波大学・平山法律事務所　平山 賢太郎 氏
2026/03/13	第 434 回定例会 (福岡市)	・「著作権の登録に関する第三者」 西南学院大学原　謙一氏 ・「著作権法上の引用に関する近時の判決」 福岡大学 平澤 卓人氏

九州国際医療機構

開催日	会合名	内 容
2025/06/24	幹事会 （福岡市）	2024 年度事業報告・収支決算、及び 2025 年度事業計画・収支計画を審査し、理事会（書面）・総会（書面）に諮る <議題> ・2024 年度 活動報告/収支決算 ・2025 年度 事業計画/収支計画 ・理事会・総会の（書面）開催 ・理事・監事・顧問の改選
2025/07/29	理事会（書面）	幹事会承認議案の決議
2025/08/25	総会（書面）	理事会承認議案の決議
2025/09/25、11/20	執行チームミーティング （オンライン）	幹事長をリーダーとしたプラン執行チームでの協議
2026/03/26	第 2 回幹事会 （オンライン）	・2025 年度事業進捗報告 ・意見交換会：（テーマ）KIMO 事業再検討

九州の食輸出協議会

開催日	行事の名称等
2025/06/26	2025 年度度総会
2025/09/12	PPIH（米国向け）九州フェア商談会
2025/10/08-10/09	Food Expo（福岡商工会議所主催）セミナー実施
2025/11/10～11/23	イオンカンボジア 九州フェア開催
2025/12/26～01/07	SEIBU マレーシア 九州フェア開催
2026/02/17	2024 年度九州の食輸出協議会、九州の食の輸出推進チーム合同会議

東九州軸推進機構

開催日	会合名	内 容
2025/05/14	実務者会議 （オンライン）	<議題> 第 35 回総会議案
2025/05/29	幹事会 （書面開催）	<議題> 第 35 回総会議案
2025/07/14	第 35 回総会 （大分市）	<議題> ・2024 年度事業報告、収支決算報告 ・2025 年度事業計画(案)、収支予算(案) ・役員改選(案) ・東九州地域の活性化推進に関する要望(案) <講演> 演題：「高速交通体系の整備と東九州軸の可能性 ～北陸新幹線の事例を踏まえて～」 講師：福井県立大学 地域経済研究所 所長・教授 東京大学名誉教授　松原 宏 氏
東九州自動車道整備促進大会		
2025/08/07	東九州自動車道建設促進地方大会 （霧島市）	<主催団体> ・東九州軸推進機構 ・東九州自動車道建設促進協議会 <大会決議> ・未事業化区間の早期事業化 ・4 車線化などの機能強化　等 7 項目 <講演> 演題：「東九州自動車道の整備による地域経済への波及効果」 講師：株式会社九州経済研究所 執行役員 経済調査部長 福留 一郎 氏

2025/10/17	東九州自動車道建設促進中央大会 (東京都千代田区)	<主催団体> ・東九州軸推進機構 ・東九州自動車道建設促進協議会 <大会決議> ・未事業化区間の早期事業化 ・4 車線化などの機能強化　等 7 項目
要望活動		
2025/08/13	東九州地域の活性化推進に関する要望（郵送）	<要望団体> ・東九州軸推進機構 <要望先> 国土交通省、内閣府、財務省、経済産業省、 九州選出国会議員　等
2025/10/17	東九州自動車道建設促進特別提言活動 (東京都)	<主催団体> ・東九州軸推進機構 ・東九州自動車道建設促進協議会 <要望先> 国土交通省、財務省、自民党

下関北九州道路建設促進協議会

開催日	会合名	内 容
2025/04/25	下関北九州道路シンポジウム ～早期実現に向けて～ （北九州市 ／オンライン）	・トークセッション （武内和久北九州市長・前田晋太郎下関市長） ・基調講演 （JAPIC 下関北九州道路 WGﾘｰﾀﾞｰ 利穂吉彦氏） ・パネルディスカッション　他
2025/06/10	幹事会 （書面開催）	<議題>2025 年度総会議案
2025/07/16	2025 年度総会 (書面開催)	<議題> ・2024 年度事業報告、収支決算報告 ・2025 年度事業計画(案)、収支予算(案) ・下関北九州道路早期実現に関する要望(案)
下関北九州道路整備促進大会		
2025/08/19	下関北九州道路整備促進大会 （北九州市）	<主催団体>　9 団体 ・下関北九州道路建設促進協議会 ・中国経連、九経連、関門連携委員会 ・下関北九州道路整備促進期成同盟会 ・下関北九州道路整備促進(山口県・福岡県・北九州市・下関市)各議会議員連盟 <大会決議> 1.国と 2 県 2 市が緊密に連携・協力し、都市計画や環境影響評価の手続きを着実に進めること 2.早期事業化に向けて、有料道路事業の導入など、効果的な整備手法を決定すること 3.地域の観光資源としてのポテンシャルを高め、地域活性化に繋がる道路となるよう検討すること
2025/11/10	下関北九州道路整備促進大会 (中央大会) (東京都千代田区)	<主催団体> 地方大会と同じ 9 団体 <大会決議> 1.利用者負担を基本とした有料道路事業を最大限に活用するなど、効果的な整備手法を決定すること 2.新規事業化に向けた手続きを着実に進めること 3.地域の観光資源としてのポテンシャルを高め、地域活性化に繋がる道路となるよう検討すること
要望活動		
2025/08/16	下関北九州道路の早期実現に関する要望 （郵送）	<要望団体> ・下関北九州道路建設促進協議会 ・関門連携委員会 <要望先> 国土交通省、内閣府、財務省、経済産業省 九州選出国会議員　等
2025/11/10	下関北九州道路中央要望 （東京都）	<要望団体> ・地方大会と同じ 9 団体 <要望先>国土交通省、財務省、自民党

九州経済国際化推進機構

開催日	会合名	内 容
総会・幹事会		
2025/04/22	2025 年度 第 1 回幹事会 (福岡市)	<議案> ・ 2024年度事業報告、収支決算・監査報告 ・ 2025 年度事業計画(案)、収支予算(案)
2025/05/13	2025 年度総会 (書面開催)	<議案> ・ 2024年度事業報告、収支決算・監査報告 ・ 2025 年度事業計画(案)、収支予算(案)
2025/05/22	2025 年度臨時幹事会 (書面開催)	<議案> ・ 会長、副会長選任(案)
2025/06/12	2025 年度臨時総会 (書面開催)	<議案> ・ 会長、副会長選任(案)
2025/12/03	2025 年度 第 2 回幹事会 (福岡市)	<報告事項> ・2025 年度事業進捗状況について ・2025 年度事業策定検討会議結果について <審議事項> ・「環黄海経済・技術交流会議における開催地選定及び開催地負担金に係る要項」の制定について（案） ・九州経済国際化推進機構ホームページの見直しについて（案）
広報・情報発信		
2025/10/28	「海外ビジネス EXPO 2025」へのブース出展(福岡市)	九州経済国際化推進機構の事業 PR および認知度向上を目的として九州経済産業局と共同でブース出展。会員の事業チラシなども展示の上、事業 PR および個別相談対応を実施。
経済交流事業		
2025/10/14 ～10/18	九州・タイ経済交流ミッション 2026 事前協議(タイ・バンコク)	※「海外との経済交流」の項目を参照
2025/11/19 ～11/20	第 23 回環黄海経済・技術交流会議 (韓国・大田広域市)	※「海外との経済交流」の項目を参照
2026/02/24 ～02/28	九州・タイ経済交流ミッション 2026 (タイ・バンコク)	※「海外との経済交流」の項目を参照
2026/03/25	九州企業とベトナム地方都市の新たな連携セミナー(オンライン)	※「海外との経済交流」の項目を参照
海外ビジネス・経済情報提供事業		
2025/09/16 ～2026/02/26	海外展開支援セミナー (ハイブリッド)	・海外展開支援施策説明会＆個別相談会 in 熊本(9/16) ・「グローバルサウス市場への挑戦」セミナー (12/10) ・中堅・中小企業のための技術流出対策セミナー ～あなたの技術も狙われています。適切な対策で「選ばれる企業」に！～ (2/26)
2026/03/23	九州×インドビジネス勉強会：現地ミッション報告と交流への展望 (オンライン)	※「海外との経済交流」の項目を参照

海外販路開拓支援事業		
2025 年度通年	九州産食品の海外販路開拓推進事業	※「九州の食輸出協議会」の項目を参照
2025/09/02	本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワークセミナー (オンライン)	2024 年度までの活動内容の報告（結果共有）並びに、今後の焼酎輸出に向けた展望をテーマとするオンラインセミナーを実施。
高度外国人材の獲得支援＜留学生等の活用＞		
2025/09/01, 10/27	ものづくり中小企業の事例から学ぶ企業向けセミナー (長崎市、熊本市)	「九州グローバル人材活用促進協議会」や「九州高度外国人材活躍地域コンソーシアム」等と連携して、九州企業と留学生の就職促進に向けた「企業向けセミナー」を開催するとともに、「高度外国人材採用合同企業説明会」、「留学生と企業のインターンシップ」を開催し、地域企業の経営課題の解決等、成長に繋げるための共創パートナーとして高度外国人の採用や定着促進を支援。
2025/10/15	高度外国人材採用に向けた合同企業説明会 (福岡市)	
2025/12/08 ～12/12	留学生と企業のインターンシップ事業 （福岡県、長崎県、佐賀県内各企業参加)	
投資促進（外国企業誘致）事業		
2025/11/27	インダストリアルツアー in Kyushu 2025 (北九州市)	九州地域への外資系企業の誘致や、外国企業と九州企業等との協業・連携を促進するため、在日外資系企業、駐日外国公館、外国政府関係機関等を対象として、九州の投資環境の説明、並びに、九州企業の現地視察（北（DX、ロボティクス関連のテック企業の視察）
2026/01/20	インダストリアルツアーwith EUJC (北九州市)	(一財)日欧産業協力センター(EUJC)と連携し、同センターの訪日ミッション参加の欧州企業を招いてインダストリアルツアーを実施

九州大学学術研究都市推進協議会

開催日	会合名	内 容
2025/05/27	第１回通常理事会	＜決議事項＞ ・令和6年度　事業報告、財務諸表について ・令和7 年度 定時評議員会の書面開催及び提出議案について ＜報告事項＞ ・職務執行状況報告
2025/06/16	令和７年度 定時評議員会	＜決議事項＞ ・令和6年度　財務諸表等 ・役員（理事）の選任について ＜報告事項＞ ・令和6年度　事業報告
2025/10/22	九州大学学術研究オープンイノベーションワークショップ	「SERENDIPITY～学術と産業が交錯し、予期せぬ革新が始まる場～」（場所：九大伊都キャンパス）
2025/12/8	九州大学学術研究都市セミナーin 東京 2025	「九州大学の取組みや研究成果を首都圏で発信」 (場所：ハイアットリージェンシー東京)
2026/02/13	令和７年度 第２回通常理事会	＜決議事項＞ ・令和８年度 事業計画について ・令和８年度 収支予算について ＜報告事項＞ ・職務執行状況報告

九州エネルギー問題懇話会

開催日	会合名	内 容
2026/03/09	常任幹事会 (福岡市)	＜議題＞ ・2026 年度の役員体制について ・2025 年度事業報告 及び 決算報告について ・2026 年度事業計画 及び 予算計画について ・2026 年度新規入会の審議について
2026/03/24	委員会 (福岡市)	＜議題＞ ・常任幹事会議題と同一
2025/07/30	第１回 エネルギー・環境講演会 （ハイブリット）	＜演題＞ 「混迷を深めるトランプ 2.0 ～エネルギー政策を中心に～」 ＜講師＞ 武蔵野大学　准教授　杉野 綾子 氏
2025/10/27	第２回 エネルギー・環境講演会 (福岡市) ※日本原子力学会九州支部との共催 （ハイブリット）	＜演題＞ 「地球環境問題への対処とエネルギーミックス」 ＜講師＞ 立命館アジア太平洋大学　教授　松尾 雄司 氏
2025/03/05	第３回 エネルギー・環境講演会 (ハイブリット)	＜演題＞ 「フューチャー・デザイン ～「未来人」の視点でエネルギー問題を考える～」 ＜講師＞ 大阪学大学院　教授　原 圭史郎 氏
2025/07/18	第１回 会員企業視察	＜視察先＞ ・自然科学研究機構　核融合科学研究所
2025/09/24	第２回 会員企業視察	＜視察先＞ ・九州電力 川内原子力発電所 ・サーキュラーパーク九州
2026/02/26	第３回 会員企業視察	＜視察先＞ ・日本製鉄　九州製鉄所　大分地区
2025/08/05 ～08/06	九州教職員ﾈｯﾄﾜｰｸ 研修・施設見学会	１日目：九州電力玄海原子力発電所見学会 ２日目：研修会 （エネルギー・環境教育の意義やエネルギー・環境題題の実情に関する講義、実験事例紹介及び意換交換） ＜ファシリテーター＞ 長崎大学教育学部 教授　藤本 登 氏 福岡教育大学教育学部 教授 坂本 憲明 氏 長崎大学教育学部 准教授 土肥 大次郎 氏 福岡教育大学教育学部 准教授 石橋 直 氏
2025/11/01 ～11/02	学生向け研修・施設見学会	１日目：九州電力玄海原子力発電所見学会 ２日目：研修会 （実験事例紹介、エネルギー等をテーマにした模擬授業及び意見交換） ＜ファシリテーター＞ 長崎大学教育学部 教授　藤本 登 氏 福岡教育大学教育学部 教授 坂本 憲明 氏 長崎大学教育学部 准教授 土肥 大次郎 氏 福岡教育大学教育学部 准教授 石橋 直 氏 鹿児島大学 理事(特命) 石窪 奈穂美 氏
2025/11/22	女性リーダーのためのエネルギー勉強会 第１回勉強会	＜研修会＞ ・テーマ：日本のエネルギー・環境問題の現状とこれからについて 九州大学大学院 教授 守田 幸路 氏 ・テーマ：九州から考える エネルギー問題と未来へのアクション 九州電力㈱地域共生本部 副長 大浦 彩音 氏
2026/01/24	女性リーダーのためのエネルギー勉強会 第２回勉強会	九州電力㈱ 玄海原子力発電所見学会 及び意見交換会 ＜ファシリテーター＞ 消費生活アドバイザー 久留 百合子 氏
2025/05/21 ～05/23	第 131 回 ｴﾈﾙｷﾞｰ問題研究委員会 (茨城県)	＜視察＞ ・日本原子力研究開発機構 高温工学試験研究炉（HTTR） ・原子燃料工業 東海事業所 ・量子科学技術研究開発機構 那珂フュージョン科学技術研究所（JT-60SA）

2025/10/03	第 132 回 ｴﾈﾙｷﾞｰ問題研究委員会 (福岡市)	<講演> 演題：半導体技術とエネルギー問題について 講師：鹿児島大学　教授　小金丸　正明　氏
2025/03/13	第 133 回 ｴﾈﾙｷﾞｰ問題研究委員会 (福 岡 市)	・情報提供･意見交換 ・委員･顧問退任式
適宜	出前講座 (九州各県)	・次世代層、経済団体等　18 回　1658 名
2026/03/09	常任幹事会 (福岡市)	<議題> ・2026 年度の役員体制について ・2025 年度事業報告 及び 決算報告について ・2026 年度事業計画 及び 予算計画について ・2026 年度新規入会の審議について

九州沖縄地方創生･産業振興懇談会

開催日	会合名	内 容
2025/8/6	第 1 回九州沖縄地方創生･産業振興懇談会 （鹿児島市）	<議事次第> ・「九州沖縄地方創生･産業振興懇談会」設置の経緯について ・九州･沖縄における地方創生･産業振興に向けて －「地方創生 2.0 基本構想」について －九州･沖縄地域における取組紹介 －意見交換

九州･沖縄文化力推進会議

開催日	会合名	内 容
2025/07/02	令和 7 年度九州･沖縄文化力推進会議 (書面決議)	<議題> 令和 7 年度 ミュージアム周遊パスの作成について
2026/01/29	令和 7 年度九州･沖縄文化力推進会議 (書面審議)	<議題> 九州･沖縄文化力推進会議の今後の事業等方針について

(一社)九州 MaaS 協議会

開催日	会合名	内 容
2025/05/01	第 1 回理事会	<審議事項> ・2024年度事業報告 ・2024年度収支決算 ・2025年度定時総会の招集
2025/05/26	第 1 回定時総会	<審議事項> ・2024年度収支決算 ・役員の選任 ・会員規程の変更 ・2025年度負担金･会費 <報告事項> ・入会会員状況 ・2024年度事業報告 ・2025年度事業計画 ・2025年度収支予算　他
2025/05/26	第 2 回理事会	<審議事項> ・副会長･業務執行理事の選任
2025/12/9	第 3 回理事会	<報告事項> ・今年度の事業計画進捗について ・職務の執行状況の報告 ・その他（広域リージョン連携について）
2026/2/2	第 4 回理事会	<審議事項> ・2026年度事業計画（案） ・2026年度予算（案） ・2026年度事業者会費等について ・2026年度事務局業務について

九州ＤＸ推進コンソーシアム

開催日	会合名	内 容
2025/04～ 2026/03	幹事会	・定例会議（月１回） 活動報告 等
2025/04～ 2026/03	WG 活動	・デジタル人材育成ＷＧ ・社会課題(ｳｪﾙﾋﾞｰｲﾝｸﾞ住宅･ｶｰﾎﾞﾝﾆｭｰﾄﾗﾙ)ＷＧ ・地域企業向けDX導入支援コンサル業ＷＧ ・カーボンニュートラルＷＧ ・デジタル防災･減災ＷＧ
2025/06/09	第 4 回総会	<次第> ・基調講演 「事例から学ぶ！九州の中小企業におけるDX成功の要諦」 講師：㈱福岡情報ビジネスセンター 代表取締役　武藤　元美　氏 ・コンソーシアムの活動報告 ・WG活動プラン等年間活動計画
2026/01/20	地域課題ソリューション提案会	<内容> 自治体の抱える地域課題に対するソリューション提案 ・GISの活用と災害情報の収集 ・窓口対応の効率化 ・行政手続きの電子化 ・地域のDX導入推進

Ⅵ 事務局の取組

【記者会見】

2025/05/12	第 181 回理事会（福岡市）
2025/05/29	第 47 回九州地域戦略会議（福岡市）
2025/06/11	第 65 回定時総会、第 182 回理事会（福岡市）
2025/09/12	第 183 回理事会、理事・審議員合同会議（福岡市）
2025/10/28	第 48 回九州地域戦略会議（沖縄県名護市）
2026/02/09	第 10 回九州・大学発ベンチャー振興会議（福岡市）
2026/03/12	第 76 回九州経済懇談会（福岡市）
2026/03/27	第 184 回理事会（福岡市）

【会長コメント発信】

2025/07/22	第 27 回参議院議員選挙の結果について
2025/10/22	高市内閣発足にあたり
2026/02/09	第 51 回衆議院議員総選挙の結果について

【プレスリリース（資料提供）】

2025/05/08	記者会見の開催
2025/05/19	第 47 回九州地域戦略会議の開催
2025/05/20	(一社)九州 MaaS 協議会 2025 年度定時総会の開催
2025/05/21	マイナビ ツール・ド・九州 Locus(ローカス)プログラムスタート
2025/06/04	第 65 回定時総会および記者会見の開催
2025/07/08	下関北九州道路整備促進大会の開催
2025/07/15	『マイナビ ツール・ド・九州 2025』プレツアーセレモニー開催
2025/07/25	第 10 回九州・大学発ベンチャー振興実践会議及び共同記者会見の開催
2025/07/25	農林水産省 滝波農林水産副大臣への本会要望書の手交
2025/07/29	九州地域戦略会議「第 22 回夏季セミナー」の開催
2025/07/29	第 1 回九州沖縄地方創生・産業振興懇談会の開催
2025/08/18	鹿児島地域委員会の開催
2025/08/18	熊本地域委員会の開催
2025/08/29	貿易・投資促進に関する協力覚書(MOU)締結式の開催
2025/09/02	大分地域委員会の開催
2025/09/05	ジェトロと九州経済連合会、台湾貿易センターとの協力覚書を締結
2025/09/09	記者会見の開催
2025/09/11	筑後地域委員会の開催
2025/09/17	公式 Instagram アカウントを開設し、情報発信力を強化
2025/09/30	佐賀地域委員会の開催
2025/10/02	西日本経済協議会第 67 回総会および代表者記者会見の開催
2025/10/16	第 48 回九州地域戦略会議の開催
2025/10/20	九州地域戦略会議広域リージョン連携宣言の公表
2025/10/21	長崎地域委員会の開催
2025/10/27	山口・北九州合同地域委員会の開催
2025/10/27	下関北九州道路整備促進大会(中央大会)の開催及び中央要望について
2025/11/05	「福岡空港機能向上等検討委員会」の発足および第 1 回会議の開催について
2025/11/11	「福岡空港機能向上等検討委員会」第 1 回会議開催結果
2025/11/11	西日本経済協議会による政府等への要望活動の実施
2025/12/04	第 18 回沖縄連携フォーラムの開催
2025/12/05	【九州地区】地域脱炭素に向けた地方公共団体と企業のマッチングイベントの開催
2025/12/15	(一社)九州経済連合会と北海道経済連合会の協定締結式および共同記者会見の開催について
2026/01/08	宮崎地域委員会の開催
2026/01/30	第 10 回九州・大学発ベンチャー振興会議及び共同記者会見の開催
2026/02/18	第 76 回九州経済懇談会の開催
2026/02/20	シンポジウム「関西×九州で考えるこれからの広域連携 ～道州制を見据えて～」開催
2026/02/24	九州における「価格転嫁の商習慣」の定着に向けた共同宣言
2026/03/09	熊本・鹿児島合同地域委員会の開催
2026/03/19	記者会見の開催
2026/03/31	九州地域戦略会議広域リージョン連携ビジョン(第 1 版)の公表

【要覧等】

2025/07	九経連要覧
2025/07/11	Organization Profile 2025-2026 (英語版パンフレット)

【会報誌】

4,7,10,1 月	九経連四季報「あすの九州・山口」

【SNS による情報発信（KAZ さんぽシリーズ※）】

※池辺会長による九州の魅力発信

2025/09/10	鹿児島県霧島市 霧島神宮編
2025/09/25	鹿児島県霧島市 釣りいかだ「隼人の海」編
2025/09/26	鹿児島県霧島市 霧島烏帽子岳バイナリー発電所編
2025/09/30	KAZ さんぽ エピソード 0（1/3）
2025/09/30	KAZ さんぽ エピソード 0（2/3）
2025/09/30	KAZ さんぽ エピソード 0（3/3）
2025/10/16	鹿児島県鹿児島市 西郷隆盛ゆかりの地編
2025/10/20	熊本県熊本市 かみとおり上妻亭編
2025/10/20	大分県豊後大野市 稲積水中鍾乳洞編
2025/10/22	大分県豊後大野市 稲積水中鍾乳洞サウナ体験編
2025/10/24	熊本県熊本市 ONE PIECE 熊本復興プロジェクト編
2025/11/07	鹿児島県鹿児島市 市内周遊編
2025/11/12	福岡県大川市 筑後川昇開橋編
2025/11/20	福岡県柳川市 夜明茶屋編
2025/12/26	福岡県大川市 仁田原建具製作所編
2026/01/07	長崎県長崎市 長崎スタジアムシティ編
2026/01/15	長崎県長崎市 三菱兵器住吉トンネル工場跡編
2026/01/21	山口県下関市 巌流島編
2026/01/28	山口県下関市 唐戸市場編
2026/02/05	佐賀県伊万里市 秘窯の里大川内山編（第 1 弾）
2026/02/10	佐賀県伊万里市 秘窯の里大川内山編（第 2 弾）
2026/02/13	佐賀県小城市 天山酒造、鯉料理編
2026/02/27	ジャングリア沖縄 ダイナソーサファリ編
2026/03/06	ジャングリア沖縄 スカイエンドトレッキング編
2026/03/14	ジャングリア沖縄 ファインディングダイナソー編
2026/03/20	宮崎県日向市西都市 大御神社、うなぎの入船編
2026/03/27	宮崎県日向市・宮崎市 クルスの海、馬ケ背、江田神社編

【SNS による情報発信（Q1 シリーズ※）】

※九経連の取組みに関する情報発信

2025/09/26	ジェトロ・台湾貿易センター（TAITRA）との協力覚書締結
2025/09/29	2025 年度 筑後地域委員会の開催
2025/09/30	中国・厦門（アモイ）市経済訪問団の来訪
2025/09/30	先進工場見学会の開催
2025/09/30	ベトナム建国 80 周年・在福岡ベトナム総領事館開設 15 周年記念レセプションの開催
2025/09/30	グリーンエネルギーポートひびき視察
2025/10/01	第 183 回理事会および理事・審議員合同会議の開催
2025/10/02	集積回路設計・評価ハンズオンセミナー視察
2025/10/07	G1 地域会議への池辺会長登壇
2025/10/15	2025 年度 第 1 回佐賀地域委員会の開催
2025/10/15	中国建国 76 周年記念レセプションへの参加
2025/10/15	九州女性の会 9 月例会の開催
2025/10/16	KIX-Regional in Fukuoka の開催
2025/10/17	第 5 回半導体戦略専門部会の開催
2025/10/23	第 2 回九州半導体産業展への参加
2025/11/06	ハプスブルク大公の福岡県知事表敬訪問への同行
2025/11/06	西日本経済協議会第 67 回総会の開催
2025/11/06	東九州自動車道建設促進中央大会および提言活動の実施
2025/11/06	九経連・経団連共催 農業×企業タイアップセミナーの開催
2025/11/06	2025 年度 長崎地域委員会の開催
2025/11/10	2025 年度 山口・北九州合同地域委員会の開催
2025/11/11	第 48 回九州地域戦略会議の開催
2025/11/12	九州市長会総会でのグランドデザイン紹介
2025/11/13	G-CITY 戦略検討会の始動
2025/11/14	福岡空港機能向上等検討委員会 第 1 回会議の開催
2025/11/17	RISE-A 視察
2025/11/18	台湾ハイエンド金属製品・ハンドツール調達商談会視察
2025/11/20	第 7 回九州沖縄経済圏スマートフードチェーンプロジェクト事業化戦略会議への参加
2025/11/21	下関北九州道路整備促進大会（中央大会）および要望活動の実施
2025/11/25	2025 年度 第 2 回佐賀地域委員会の開催
2025/11/27	立命館アジア太平洋大学開学 25 周年記念式典参加
2025/12/01	九州女性の会 11 月例会の開催
2025/12/01	関門エリアを“もっと面白くする”ワークショップの開催
2025/12/03	2025 年度 林業部会 第 2 回モクビル研究会の開催
2025/12/04	第 4 回新生シリコンアイランド九州情報連絡会の開催
2025/12/05	第 2 回 G-CITY 戦略検討会議の開催
2025/12/05	ホームセンター「グッデイ」に学ぶバックヤードツアーの開催
2025/12/10	九州・韓国経済協力会議の開催
2025/12/11	環黄海経済・技術交流会議の開催
2025/12/18	2025 年度地域共創委員会農業部会現場視察会の実施
2025/12/25	第 18 回沖縄連携フォーラムの開催
2025/12/25	西部ガス「ひびき LNG 基地」視察

2026/01/05	顧問会の開催
2026/01/07	DX＆セキュリティセミナーの開催
2026/01/23	第 3 回 G-CITY 戦略検討会議の開催
2026/01/23	第 6 回半導体戦略専門部会の開催
2026/01/24	第 5 回九州宇宙開発ビジネス交流会の開催
2026/01/28	2025 年度 宮崎地域委員会の開催
2026/01/28	地方創生対話フォーラム@九州・沖縄ブロックへの登壇
2026/01/29	北海道経済連合会との連携協定締結
2026/02/09	第 1 回筑後地域委員会ワンヘルスプロジェクト会議の開催
2026/02/16	正副会長・委員長会議および新入会員交流会の開催
2026/02/17	2025 年度 北九州地域委員会 GX バスツアーの開催
2026/02/19	第 4 回 G-CITY 戦略検討会議の開催
2026/02/26	新春対談（星野リゾート星野代表×九経連池辺会長）
2026/03/03	地域脱炭素に向けた地方公共団体と企業とのマッチングイベントの開催
2026/03/04	マイナビ ツール・ド・九州 2025×Locus（ローカス）プログラム 大分県報告会の開催
2026/03/05	マイナビ ツール・ド・九州 2025×Locus（ローカス）プログラム 宮崎県報告会の開催
2026/03/06	マイナビ ツール・ド・九州 2025×Locus（ローカス）プログラム 熊本県報告会の開催
2026/03/09	2025 年度地域共創委員会水産業部会現場視察会の開催
2026/03/11	マイナビ ツール・ド・九州 2025×Locus（ローカス）プログラム 長崎県報告会の開催
2026/03/12	2025 年度 第 2 回水産業部会の開催
2026/03/17	セキュリティワークショップ in 大分の開催
2026/03/18	第 5 回 G-CITY 戦略検討会議の開催
2026/03/19	第 2 回筑後地域委員会ワンヘルスプロジェクト会議の開催
2026/03/20	2025 年度 第 2 回林業部会の開催
2026/03/24	シンポジウム「関西×九州で考えるこれからの広域連携～道州制を見据えて～」の開催
2026/03/25	2025 年度 第 2 回農業部会の開催
2026/03/26	マイナビ ツール・ド・九州 2025×Locus（ローカス）プログラム 福岡県報告会の開催
2026/03/26	第 76 回九州経済懇談会の開催
2026/03/27	企業×学生セミナー「資源循環の最前線」の開催
2026/03/28	2025 年度 熊本・鹿児島合同地域委員会の開催
2026/03/31	九州・タイ経済交流ミッションの派遣

＜各情報発信の内容は以下を参照＞

KYUKEIREN_OFFICIAL

【URL】https://www.instagram.com/kyukeiren_official/?hl=ja

Ⅶ　本会要望・意見等

2025/07	**国の施策に関する要望　～九州・山口地域における農林水産業の振興に向けて～** 農林水産業の事業基盤強化及び成長産業化、農林水産物・食品の輸出促進を中心に、農林水産省に対し、主に以下の項目を要望 1 (農畜産業)食料の安定供給の確保に向けた施策の推進 2 (林　　業)国産木材の利用促進（木造建築物の推進・誘導）および森林保全、整備活用に関する事 3 (水 産 業)養殖業の産業競争力強化の国家戦略としての推進
2025/08	**九州・山口地域における交通基盤整備に関する要望** 地域経済の一体的な発展を促進し、地方創生を実現するため、九州域内の道路、鉄道、港湾、空港の整備促進全般について、以下の項目を要望 1　道路整備等について 2　鉄道整備等について 3　港湾整備等について 4　空港整備等について 5　地域交通及び物流機能の維持・確保について
2025/08	**東九州地域の活性化推進に関する要望(東九州軸推進機構)** 東九州自動車道をはじめとする高速交通体系の整備及び南海トラフ巨大地震への備えとして防災・減災、国土強靭化のための社会資本の整備などを求め、以下の項目を要望 1　循環型高速交通網の整備拡充（高規格道路等の整備促進） 2　交流・連携に不可欠な社会資本の整備 3　産業振興・地域活性化の促進
2025/08	**下関北九州道路の早期実現に関する要望** **(下関北九州道路建設促進協議会・関門連携委員会)** 既存道路ネットワークの課題の解消や関門トンネル及び関門橋の代替機能の確保、循環型ネットワーク形成による下関北九州地域の一体的発展、さらには、国土強靭化を進めるためにも、下関北九州道路の早期事業着手が進められるよう、以下の事項を要望。 1　下関北九州道路の早期実現を図ること 2　事業化に向けて、必要な調査を遅滞なく実施するとともに具体的な方策の検討を進めること 3　これらの調査・検討に必要な予算を確保すること
2025/11	**共創と広域連携による魅力と活力ある地域の創生～西日本が拓く新たな未来～** **（西日本経済協議会）** 1　府県を越えた広域連携の促進と新たな経済社会モデルの構築 2　イノベーションの促進と生産性向上 3　GX（グリーントランスフォーメーション）の実現に向けた取り組みの推進 4　地方創生の強力な推進 5　国土強靭化と防災・減災対策の推進、ネットワーク形成に向けた社会基盤整備等

一般社団法人　九州経済連合会

事　務　局　　〒810-0004
福岡市中央区渡辺通２丁目１番82号 電気ビル共創館６階
TEL　092-761-4261（代表）　FAX　092-724-2102

報告事項 ２ - １

2026 年度 事業計画

Ⅰ．基本的考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １

Ⅱ．事業の概要（主な活動） ・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３

Ⅲ．具体的な活動内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４

Ⅳ．理事会・総会等の主要スケジュール ・・・・・・・・・・・ １０

（付１）活動一覧（委員会、戦略会議、懇談会、事務局） ・・・・・ １１

（付２）関連協議会等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４

一般社団法人
九州経済連合会
Kyushu Economic Federation

Ⅰ　基本的考え方　～ 第２期中期計画 総仕上げ ～

本会は 2021 年に「九州将来ビジョン 2030」を公表し、3 つのありたい姿「新たな時代の成長エンジン」「心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ」「自立型広域連携アイランド」を掲げた。

第 2 期中期事業計画（2024～2026 年度）では、「 “九州から日本を動かす” 新たな価値の創出 ～地域の声を活かした飛躍に向けての挑戦」をテーマに「11 の重点戦略」を設定し、具体的取組を推進しているところである。

現下の世界経済は、中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりや米国による新たな相互関税の導入等により不透明感が増している。また、AI の劇的な進化は、人手不足の改善や生産性向上の切り札となる一方、産業構造や人々の働き方を根本から変えつつある。

日本経済は、民間消費の回復により緩やかな成長を続ける見通しであるが、原油価格の高騰などから下振れリスクを抱えている。

九州では、少子高齢化や人口減少を背景に、地域経済を支えるエッセンシャルワーカー等の人手不足が顕在化しており、深刻な課題となっている。

こうした中、日本政府は、「責任ある積極財政」を掲げ、「危機管理投資」や「成長投資」を加速する考えである。具体的には、AI・半導体やフードテックなど 17 の戦略分野を大胆な財政支援で後押しするとともに、自治体との協働による地域産業クラスターの形成や地場産業の高付加価値化を推進し、経済成長を促していく方針である。また、首都機能分散や多極分散型経済圏を形成する観点から、副首都構想を検討するとしている。

2026 年度は、こうした環境変化を踏まえ、第２期中計の最終年度として、「九州将来ビジョン 2030」の実現へ向けて、着実に取り組んでいく。

具体的には、AI の動向を注視しつつ、半導体関連産業や農林水産業など九州の強みを活かしながら、九州の成長エンジンを伸ばしていく。また、人への投資を推進し、若者・女性に選ばれる地域づくりや成長と分配の好循環を実現していく。更に、九州 MaaS や、デジタルを活用した災害対策の高度化などハード・ソフト両面からインフラ整備を推進し、「自立型広域連携アイランド」の構築を目指していく。

九州は、豊かな自然資本や CO2 フリーエネルギー、アジアとの近接性など、多くのポテンシャルを有している。

本会は、九州の強みを最大限に引き出すとともに、産学官のまとまりの良さを活かしながら、九州を更に元気にし、九州から日本の明るい将来に貢献していけるよう取り組んでいく。

2026年度 事業計画　基本的考え方

九州将来ビジョン2030

2021年、創立60周年の節目に『**九州将来ビジョン2030**』を策定。
2030年の九州の「ありたい姿」の実現に向けて、
原則3年ごとに「中期計画」を策定し、3ステップで取り組んでいます。

第2期中期計画（3カ年）

2024年度からの**第2期中期計画（2024～2026年度）**では、
「＂九州から日本を動かす＂新たな価値の創出
～地域の声を活かした飛躍に向けての挑戦」を基本方針に取り組む。
具体的には、「11の重点戦略」と「具体的取組」に沿って、活動を展開。



2026年度 事業計画　基本的考え方　（ビジョンと中期計画に基づく単年度計画）

＜ 2026年度方針 ＞

2026年度は、第２期中計の最終年度として、「九州将来ビジョン2030」の実現へ向けて、着実に取り組んでいく。
具体的には、AIの動向を注視しつつ、半導体関連産業や農林水産業など九州の強みを活かしながら、九州の成長エンジンを伸ばしていく。また、人への投資を推進し、若者・女性に選ばれる地域づくりや成長と分配の好循環を実現していく。更に、九州MaaSや、デジタルを活用した災害対策の高度化などハード・ソフト両面からインフラ整備を推進し、「自立型広域連携アイランド」の構築を目指していく。



Ⅱ　事業の概要（主な活動）

11 の重点戦略 （2024～26 年度）	主な活動（2026 年度） ※ 【継】昨年度から継続　【新】今年度新規性有り
1.新生シリコンアイランド九州の実現 ～半導体関連産業を中心とした産業集積支援と新たなまちづくり等に向けた取組	▷新生シリコンアイランド九州グランドデザインの実現に向けた会員企業および九州地域戦略会議等と連携した課題解決の取組み(ビジネスエコシステム中核拠点整備・運営に係る規制緩和・財政支援等に関する政府要望等)　【継】 ▷半導体ビジネスエコシステム構築のための半導体関連企業及び半導体ユーザー企業の誘致・育成支援（TAITRA、JETRO、Q-BASS 等他団体と連携した企業誘致イベントの開催、日台半導体産業共創イベントの開催等）　【継】
2. 各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援	＜自動車、航空宇宙、ロボティクス等＞ ▷次世代リーディング産業の育成・誘致・振興【継/新】 ＜農林水産業＞ ▷食品の輸出拡大【継】 ▷企業の農業参入・農業労働力支援【継/新】 ▷非住宅木造建築の需要拡大【継】 ＜デジタル＞ ▷DX・AX 推進のための経営者の意識改革＆実行力の向上【継/新】 ＜観光・地元定着＞ ▷「ツール･ド･九州」を核とした九州ｻｲｸﾙﾂｰﾘｽﾞﾑの推進による経済効果の最大化【継】 ▷「ツールド九州」と連携した、若者の地元定着に資する探求学習プログラム「locus」）の運営【継】
3. GX 推進及び将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組	▷アンケート調査結果を踏まえた企業ニーズ･進捗状況に応じた脱炭素化推進支援【新】 ▷サステナブル社会実現に向けた国･自治体などとの官民協働の推進【継/新】 ▷サステナブルファイナンスの拡大に向けた取組【継】 ▷脱炭素電源の最大活用や最新技術活用に資する法整備・補助金の要件緩和に向けた国への要望【継】
4．産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援	▷「九州・大学発ベンチャー振興会議」や「九州・山口ベンチャーマーケット」等への参画と各支援団体・自治体間の県域を越えた交流・連携の促進【継/新】 ▷産学連携強化に向けた意見交換・ネットワークの充実【新】
5．アジア地域諸国･世界との連携強化	▷海外への経済交流ミッションの派遣（ベトナムなど）【継/新】 ▷台湾の経済団体「三三会」との新規 MOU 締結【新】 ▷インド・九州ビジネスフォーラム（仮称）の開催【新】 ▷九州プロモーションセンターin ハノイ(K.P.C.)の周知広報活動【継】 ▷World One Health Congress 2028 等国際会議誘致支援【継】
6.産学官連携による高度専門人材の育成支援	▷九州域内 ICT 人材育成のための実践的インターンシップの企画・運営【継】
7．九州地域の経済・産業活性化による所得・給与向上の取組	▷九州における「価格転嫁の商習慣」定着に向けた会員企業等への働きかけ【継】
8．多様性・包摂性ある風土の醸成	▷「イクドリ！宣言」登録企業の増加に向けた各県支援の拡充を働きかけ【継】 ▷女性管理職ネットワーク「WE-Net 九州」を通じた、 当会事業に関連する地域課題への解決プラン・提言の実施【継】 ▷人材流動化、外部人材活用に資する取組【新】
9．ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進	▷地域経済を支える交通インフラ整備に向けた取組の推進【継】 ▷「九州 MaaS」プロジェクトの取組み推進【継/新】 ▷九州広域データ連携に向けたサービスの実装モデル構築及びプラットフォームの具現化【継】
10．地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援	▷災害対策の高度化、広域連携の仕組みづくりに向けた取組【継】 ▷九州防災 DX ﾀｽｸﾌｫｰｽによる新たなサービス実証等の共創事業【継/新】
11. 九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決	▷地域資源の活用　【継】 （健康産業モデル創出、北九州・下関の広域連携、医療渡航推進による地域活性化） ▷「九州未来ビジョン 2050」の策定【新】

Ⅲ　具体的な活動内容

第 2 期中期事業計画（2024～2026 年度）における「重点戦略」の「具体的取組」に沿って、2026 年度の活動計画を記載。

重点戦略１　「新生シリコンアイランド九州」の実現　～半導体応用産業と半導体関連産業を中心としたビジネスエコシステムの構築とまちづくり等に向けた取組

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

①　新生シリコンアイランド九州グランドデザインの実現に向けた会員企業および九州地域戦略会議等と連携した課題解決の取組み

- 地域の既存産業の特徴や産業政策に応じたビジネスモデルの創出
- ビジネスエコシステム中核拠点の整備・運営に係る規制緩和や財政支援等に関する政府への要望
- 日台協業によるサプライチェーンの強靭化に向けた取組みの推進（日台半導体産業共創イベントの開催等）
- 九州地域戦略会議の九州創生アクションプランに基づく、官民連携施策の実施

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

②　半導体ビジネスエコシステム構築のための半導体関連企業及び半導体ユーザー企業の誘致・育成支援

- TAITRA(台湾貿易センター）および JETRO との MOU に基づく企業誘致への取組み
- Q-BASS(※)等他団体と連携した企業誘致の取組み（誘致イベントの開催等）
  ※九州・沖縄地域 地銀１３行連携（Kyusyu-Okinawa-Banking Alliance Semiconductor Solutions）
- 半導体ユーザー企業及び半導体関連企業の九州進出に係る情報収集と誘致支援

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

③　半導体応用分野（次世代ロボティクス、次世代自動車等）に関する調査・研究

- 次世代ロボティクス（スマートメカトロニクス）や次世代自動車（EV、SDV、自動運転等）、AI 等の半導体応用分野に関する調査・研究

重点戦略２　各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

①　次世代リーディング産業の育成・誘致・振興

- エレクトロニクス応用推進に向けたユーザ企業の支援および市場調査
- リーディング産業振興に向けた企業・自治体等へのヒアリングの実施
- 産業界の生産性・付加価値向上に向けた先進工場見学会の実施

〔地域共創委員会〕

具体的取組

② 食品の輸出拡大

- 海外マーケットの情報収集・分析（テストマーケティング実施・レポート作成提供）
- 「九州フェア」開催による販路開拓及び現地ネットワークを活用した更なる販路拡大
- 事業者支援（セミナーの開催・専門輸出支援機関「九州の食の輸出推進チーム」との連携）

〔地域共創委員会〕

具体的取組

③ 持続的成長に向けた多様な担い手の確保と生産性向上支援

- 「地域農業を地域企業で支える仕組み」を基点とした、人的支援の取組強化
  副業、ボランティア、研修による農業体験拡大、出向型スキームの地域企業への働きかけ
- 企業の農業参入モデルの横展開（自治体・企業での活用、マッチング機会創出）
- 教育面での企業×農業の接点づくり
  学生に対し農業の経営視点を育てる目的で就農調査と先端農業企業との交流による学習機会を創出
- 域外企業の九州農業参入のため、九州各県一体となった課題解決に資するセミナー・シンポジウムを開催（経団連共催事業）
- 九州地域の農林水産業の発展に必要な国の施策支援等に関する要望活動

〔地域共創委員会〕

具体的取組

④ 中大規模木造建築物の普及による林業活性化と CO2 削減への貢献

- 九州産木材の需要創出に向けて、非住宅木造建築物普及に関する課題整理･対応策の検討、及び木造・木質化のメリット周知による PR 活動（林業部会「モクビル研究会」）

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

⑤ DX・AX 推進のための経営者の意識改革＆実行力の向上

- 経営者の意識改革を促す、DX・AX 先進企業視察ツアーの継続
- 実践的なテーマ別ワークショップの企画・実行
  ※AX＝AI Transformation。AI を活用して業務プロセスやビジネスモデルを変革すること

〔地域共創委員会〕

具体的取組

⑥ 「ツール･ド･九州」を核とした九州サイクルツーリズムの推進による経済効果の最大化

- UCI（国際自転車競技連合）公認のサイクルロードレース「ツール･ド･九州 2026」の開催
- 地域を巻き込む仕掛けづくり
- レースと観光事業（CYCLING ISLAND KYUSHU）の連携深化

・ 高校生向け探究学習プログラム「Locus」の活用・実施エリア拡大による、若者の地元定着・九州への人材還流促進

重点戦略３ GX 推進及び将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組

〔資源エネルギー･環境委員会〕

具体的取組

① 脱炭素社会の早期実現に向けた実行支援等の取組み

・ 2025 年度に実施したアンケート調査結果を踏まえ、以下の支援策を実施
  - 先行企業の費用対効果事例や業種別ケーススタディ等、投資判断に活用できる情報の提供
  - 排出量算出や計画策定可能な GX 人材育成に向けたワークショップ等の実施
  - マッチングイベント等によるビジネス機会の創出
  - 脱炭素電源・最新技術の活用促進に向けた法整備や補助要件の緩和に関する国への要望

〔資源エネルギー･環境委員会〕

具体的取組

② サステナブル社会実現に向けた国･自治体などとの官民協働の推進

・ 地域脱炭素実現に向けた地方公共団体と企業とのマッチングイベントの支援
・ 環境省との連携による学生の環境意識啓発につながるセミナーの実施
・ サーキュラーエコノミーの推進に向けた企業間の連携促進、および先進事例の紹介による機運醸成
・ ネイチャーポジティブの認知度向上に向けたシンポジウムやイベント等の開催

〔資源エネルギー･環境委員会〕

具体的取組

③ サステナブルファイナンス拡大に向けた取組

・ 九州・沖縄・山口の金融機関による「インパクト志向投融資宣言」の周知
・ 金融機関間でのサステナブルファイナンス好事例の共有
・ サステナブルファイナンスに関する企業・市民の認知度向上に繋がる情報発信

重点戦略４ 産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

① ベンチャー支援活動への参画および各支援団体・自治体間の連携促進

・ 「九州・大学発ベンチャー振興会議」や「九州・山口ベンチャーマーケット」等への参画
・ 九州におけるベンチャー支援団体・自治体との交流や連携の促進
・ 産学連携強化に向けた意見交換・ネットワークの充実

重点戦略５　アジア地域諸国・世界との連携強化

〔総務国際部〕

具体的取組

①　MOU 締結先の企業と九経連会員企業との交流機会の提供

- 海外への経済交流ミッションの派遣（ベトナムなど）
- 台湾の経済団体「三三会」との新規 MOU 締結（2026 年 9 月、福岡市内）
- インド・九州ビジネスフォーラム（仮称）の開催（福岡市内）
- 九州プロモーションセンターin ハノイ(K.P.C.)の周知広報活動の実施

〔総務国際部〕

具体的取組

②　他団体と連携した MICE 等誘致支援

- 「World One Health Congress 2028 福岡大会」など域内への国際会議誘致支援

重点戦略６　産学官連携による高度専門人材の育成支援

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

①　九州域内 ICT 人材育成のための実践的インターンシップの企画・運営

- インターンシップの安定的運営に向けた、会員企業や大学に対する継続的な参加促進と連携強化

重点戦略７　九州地域の経済・産業の活性化による所得・給与向上の取組

〔経営企画室〕

具体的取組

①　適正な価格転嫁による成長と分配の好循環の実現

- 構造的な賃上げによる経済好循環の実現に向けた九州各県における賃上げの動向調査
- 九州における「価格転嫁の商習慣」定着に向けた会員企業等への働きかけ

重点戦略８　多様性・包摂性ある風土の醸成

〔地域共創委員会〕

具体的取組

①　ジェンダー主流化の取組

- 男性育休２週間以上 100%取得を目指す「イクドリ！宣言」登録企業の増加に向けて、各県支援の拡充を働きかけ

・「WE-Net 九州」を通じた、当会事業に関連する地域課題への解決プラン・提言の実施

〔地域共創委員会〕

具体的取組

② 人材流動化、外部人材活用に資する取組

・ 国立高専の全国 51 校ネットワークを牽引する「半導体人材育成センター（佐世保高専）」を核に、産学連携による価値創造人材の育成に向けた取組推進
・ 地域企業の持続的な成長に向けて、都市人材と地域との“外部人材活用“のオール九州での仕組みづくり

重点戦略９ ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進

〔交通委員会〕

具体的取組

① 地域経済を支える交通インフラ整備に向けた取組の推進

・ 交通委員会や関連団体を中心とした交通インフラ整備に関する要望活動と、九州地域の持続的な経済成長に資する基盤整備に向けた機運醸成および働きかけの推進

＜道　路＞ 人流・物流を支える高規格道路の早期整備
東九州自動車道､九州中央自動車道、西九州自動車道、南九州西回り自動車道、有明海沿岸道路、中津日田道路、中九州横断道路、下関北九州道路、島原・天草・長島架橋構想など

＜空　港＞ 地域拠点空港としての確実な整備
福岡空港の第二滑走路を最大限に活用した機能向上等の早期実現、空港アクセスの向上、訪日誘客支援空港整備支援など

＜鉄　道＞ 地方創生につながる整備新幹線計画の推進
西九州新幹線新鳥栖駅～武雄温泉駅間の整備促進、東九州新幹線の整備計画路線への格上げ

＜港　湾＞ 国際拠点港湾としての機能向上と整備促進

＜地域交通及び物流機能維持・確保＞
持続可能な地域交通ネットワークの構築に向けた財政支援など

〔交通委員会〕

具体的取組

② 九州 MaaS プロジェクトの取組の推進

・ 広域での官民・交通事業者間の共創・連携による、デジタルを活用した、利便性が高く、持続可能な地域交通ネットワークの構築に向けた取組の推進

<移動需要創出・地域経済の活性化につながる取組の推進>
観光・商業・イベント等交通以外の分野との連携

<官民共創事業の実施>
国交省「地域交通 DX 推進プロジェクト“COMmmmONS”」など国の政策との連携
移動円滑化など持続可能な地域交通の構築のための自治体等との協働強化

〔産業振興･デジタル推進委員会〕

具体的取組

③ 九州広域データ連携に向けたサービスの実装モデル構築及びプラットフォームの具現化

- 複数分野を組み合わせた新たなサービスの具体化
- 広域データ連携の方法、形態等のモデル作成
- その他、実現に必要となる事項（運営方法・ルールなど）の調査・研究

重点戦略 10　地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援

〔地域共創委員会〕

具体的取組

① 防災 DX の官民共創
（災害対策高度化支援、防災対策サービスの官民共創、広域連携の仕組みづくり）

- 災害対策の高度化、広域連携の仕組みづくりに向けた取組
  - 災害情報活用における広域連携の実証継続ならびに実装に向けた個別支援
  - 全県共通ガイドライン策定に向けた、応援・受援県の具体的な初動対応の整備
  - 情報の標準化（九州版 EEI※）及び情報を効果的に活用する出口戦略の検討
    ※EEI：災害対応基本共有情報（Essential Elements of Information）
- 「九州防災 DXタスクフォース」会員企業のリソースを活用したサービスの実証等の共創事業
  - タスクフォースのリソース展開に向けた基礎自治体の防災対策の課題調査

重点戦略 11　九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決

〔地域共創委員会〕

具体的取組

① 地域に根差した連携事業（産学官民協働）の展開

＜地域資源の活用＞

- 地域資源の発掘・活用による、関係人口拡大や産業創出に向けた取組（特定エリアでのモデルづくり、福岡・筑後地域の特性を活かした健康産業モデル創出　等）
- 関門地域の一体的な発展に向けた、北九州市・下関市の広域連携と地域ブランド向上への取組（関門連携委員会）
- 九州国際医療機構（KIMO）を核とした、医療渡航推進による地域活性化と、外国人患者に関して医療機関が抱える課題解消の取組実施
  （医療渡航者の九州誘致、外国人患者への医療提供に係るリスク軽減、
  外国人患者受入れを行う医療機関拡大）

＜各地域委員会＞

- 九経連全体の地域課題解決プロジェクトとの協働・連携
- 会員意見交換会や視察会等を通じ、各地域の産業構造の特色に応じた地域課題の抽出と九経連活動への反映
- 会員相互の交流・連携の促進

Ⅳ　理事会・総会等の主要スケジュール

2026年

5 月	第 185 回理事会（15 日、福岡市）
	第 49 回九州地域戦略会議（27～28 日、山口県下関市）
6 月	第 66 回定時総会・第 186 回理事会（12 日、福岡市）
8 月	第 23 回九州地域戦略会議 夏季セミナー（4～5 日、佐賀県唐津市）
10 月	第 187 回理事会、理事・審議員合同会議（2 日、福岡市）
	第 68 回西日本経済協議会 総会（14 日、松山市） 及び要望活動（11 月 16 日、東京）
	第 50 回九州地域戦略会議（28～29 日、宮崎市）
12 月	第 77 回九州経済懇談会（経団連との懇談会）（9 日、那覇市）
	顧問会（11 日、東京）

2027年

1 月	正副会長･委員長会議（27 日、福岡市）
3 月	第 188 回理事会（26 日、福岡市）

（付 1）　活動一覧（委員会、戦略会議、懇談会、事務局）

Ⅰ．委員会

(1)　資源エネルギー・環境委員会

2050 年のカーボンニュートラルの実現に向け、GX 推進により九州における脱炭素に寄与するとともに、産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組みを展開する。

■脱炭素社会の早期実現に向けた実行支援等の取組み（アンケート結果を踏まえた脱炭素化推進支援）

①先行企業の事例等、投資判断に活用できる情報提供

②排出量算出や計画策定可能な GX 人材育成に向けたワークショップ等の実施

③脱炭素推進企業のビジネス機会創出に繋がるマッチングイベントの検討

④脱炭素電源・最新技術の活用促進に向けた法整備や補助要件の緩和に関する国への要望

■サステナブル社会実現に向けた国･自治体などとの官民協働の推進

①地方公共団体と企業とのマッチングイベントの支援

②学生の環境意識啓発につながるセミナーの実施

③サーキュラーエコノミーの推進および機運醸成

④ネイチャーポジティブの認知度向上

■サステナブルファイナンス拡大に向けた取組

①九州・沖縄・山口の金融機関による「インパクト志向投融資宣言」の周知

②金融機関間でのサステナブルファイナンス好事例の共有

③サステナブルファイナンスに関する企業・市民の認知度向上に繋がる情報発信

(2)　産業振興・デジタル推進委員会

次世代リーディング産業の育成、九州イノベーション・エコシステムの構築、産学官連携による課題解決促進、更にはデジタル技術の活用による企業の DX 推進支援やそのための ICT 人材育成等を通じ、九州における戦略産業の振興と持続的な成長、地域課題の解決を目指す。

■「新生シリコンアイランド九州」の実現
～半導体応用産業と半導体関連産業を中心としたビジネスエコシステムの構築とまちづくり等に向けた取組

① 新生シリコンアイランド九州グランドデザインの実現に向けた会員企業および九州地域戦略会議等と連携した課題解決の取組み

② 半導体ビジネスエコシステム構築のための半導体関連企業及び半導体ユーザー企業の誘致・育成支援

③ 半導体応用分野（次世代ロボティクス、次世代自動車等）に関する調査・研究

■九州イノベーション・エコシステムの構築

①スタートアップ・ベンチャー支援を通して九州イノベーション・エコシステム構築を推進

■産学官連携による課題解決促進と高度専門人材の育成支援

①産学連携懇談会などを利用した産学官の連携による課題解決の促進

②九州域内 ICT 人材育成のための実践的インターンシップの企画・運営

■各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援

①DX・AX 推進のための経営者の意識改革＆実行力の向上

■広域データ連携の推進

①九州広域データ連携のメリットの追求と方法、形態等の検討

(3)　地域共創委員会

地域の社会課題解決と魅力向上による「地方創生」に重点を置き、特定エリアを舞台とする実践的モデル事業と、九州の総意形成による九州一体の取組の両輪で事業を展開し、多様な人々が幸せを感じながら活躍できる、持続可能な地域づくりを目指す。

■地域の「稼ぐ力」を高める

① 九州地域戦略会議「九州の食輸出」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行

② 農林水産業の持続的成長に向けた多様な担い手の確保と生産性向上支援

③ 中大規模木造建築物の普及による林業活性化と CO2 削減への貢献

④ 九州地域戦略会議「ｻｲｸﾙﾂｰﾘｽﾞﾑの聖地・九州」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行（ツール･ド･九州の効果最大化）

■多様な人材

① 地域の人材の確保・育成、活躍できる環境づくりに資する取組

② ジェンダー主流化の取組（九州地域戦略会議「イクドリ」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行、女性管理職ネットワーク）

■防災・減災対策の高度化

① 九州地域戦略会議「防災・減災対策高度化」ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実行

② 防災 DX の官民共創（九州防災 DX ﾀｽｸﾌｫｰｽ）

■地域の課題解決

① 地域資源を活かした輝く地域づくり（関係人口拡大や産業創出に向けた取組

③ 一極集中の是正（高校生向け探究学習プログラム「Locus」活用、国際金融機能の誘致支援）

(4)　交通委員会

九州の一体的な発展を目指すため、「アジアに近い九州」という強みを活かし、観光・産業振興、アジアのゲートウェイとしての空港・港湾機能の向上、人流・物流を支える高規格道路や整備新幹線の早期整備及び持続可能な地域交通ネットワークの整備等を推進する。

■地域経済を支える交通インフラ整備に向けた取組の推進

① 地域が一体となった政府等への要望活動および機運醸成のための整備促進大会等の開催
② 地方創生や国土強靭化、産業振興のため九州に必要なインフラ整備に向けた活動

■利便性が高く持続可能な地域交通ネットワークの構築及び観光活性化に資する「九州 MaaS」プロジェクトの実行

① 移動需要創出・地域経済活性化に向けた取組(観光･商業・イベント等交通以外の分野との連携)
② 国の政策との連携、官民共創事業の実施(移動円滑化など持続可能な地域交通の構築のための自治体との協働)

(5)　関門連携委員会

九州と本州の連携を強化し、関門地域の一体的発展を図るため、地域振興における発展戦略について調査・検討を進めるとともに、下関北九州道路の早期実現に向けた整備促進大会や要望活動を行う(中国経済連合会との合同委員会につき、同連合会との連携による)。

■関門連携による地域活性化

広域連携を軸とした地域ブランド向上に向けた活動

■関門地域内の交通基盤整備

二県二市、経済団体と連携した道路整備促進

(6)　各地域委員会

各地域の産業経済に関する諸問題を調査研究し、意見を取りまとめ、九経連全体としての活動に反映することにより、その解決、実現を図ることを目的として、地域に根差した魅力ある九経連活動を展開する。

■地域に根差した活動強化

① 九経連全体の地域課題解決プロジェクトとの協働・連携事業
② 講演会、視察会等による調査研究、会員意見交換会を通じ、各地域固有の課題の抽出と九経連活動への反映
③ 会員相互の交流・連携の促進

2．　九州地域戦略会議

(1)　九州地域戦略会議

官民一体となった九州独自の発展戦略の研究や具体的施策を推進する。メンバーは下記の通り。

九州地方知事会（各県知事）、九経連会長及び会長が指名する者、九州商工会議所連合会会長及び会長の指名する副会長、九州経済同友会代表委員、九州経営者協会会長

・テーマ：「第３期九州創生ｱｸｼｮﾝﾌﾟﾗﾝ」の審議他
・第 49 回：2026 年 5 月 27･28 日 ／山口県
・第 50 回：2026 年 10 月 27･28 日／宮崎県

(2)　夏季セミナー

産官学のトップリーダーが一堂に会し、九州の発展に向けた共同体意識を醸成し、様々な課題について討議・提言を行う。メンバーは下記の通り。

九州地方知事会（各県知事以下三役等）、域内大学学長、各県議会議長、経済４団体の会員企業　等

・第 23 回夏季セミナー：2026 年 8 月 4~5 日／佐賀県唐津市

3．　懇談会

(1)　沖縄連携フォーラム

沖縄県経済団体会議との共催により、九州･沖縄の連携と両地域の相互理解、共通課題について意見交換、検討を行うとともに、解決を図る。

(2)　九州経済懇談会

日本経済団体連合会（経団連）との共催により、わが国並びに九州地域が当面する課題について、意見交換する。（2026 年 12 月 9 日／那覇市）

(3)　九州経済を考える懇談会

九州の経済団体※の長が、九州経済の現状と重要課題について共有するとともに、課題の解決に向けた方向性について議論する（年２回程度）。

※九州の経済団体：九経連、九州ｵｰﾌﾟﾝｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会、九州経済調査協会

(4)　産学連携懇談会

九州の発展戦略や産学連携に関する諸課題について意見交換する。（2026 年４月 15 日／福岡市）

・主要テーマ：
「知」の拠点強化、共同研究･ｵｰﾌﾟﾝｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ、課題解決型ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ、地方創生、産業活性化、ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化、九州に求められる人材育成･確保 等

(5)　西日本経済協議会

（2026 年度幹事：四国経済連合会
九経連内担当：総務国際部）

北陸、中部以西の６つの経済連合会※が連携して、西日本地域の共通の課題解決に向けた取組を展開するとともに、国等に要望する。

※6 つの経済連合会：北陸経済連合会、(一社)中部経済連合会、(公社)関西経済連合会、（一社）中国経済連合会、四国経済連合会、(一社)九州経済連合会

・総会：2026 年 10 月 14 日／松山市
・要望：2026 年 11 月 16 日／東京

(6)　九州女性の会

「九州で働く女性が、管理職や経営者として、九州ひいてはグローバルで活躍できるための資質を高める」を方針として掲げ、九経連会員の女性経営者及び女性管理職による勉強会や交流等を実施する。

４．　事務局

(1)　全体的な取組

① 九州がアジア等海外諸国の成長とともに発展するため、海外政府機関・経済団体との間で締結したMOU（11カ国・地域）等を活用し、九州の中小企業等の海外ビジネス展開の実現に向けた環境整備や対日投資の誘致、諸外国とのネットワーク強化を図る。
- 「九州プロモーションセンターin ハノイ(KPC)」を中核としたアセアン戦略の構築･実践
- オール九州の官民による海外ミッション派遣

② 九州各地域の情報を把握し課題解決につなげるため、地域課題と九州全体の戦略･動きを各地域に設置した「地域参事」（駐在担当者）と共有し、各委員会や九州地域戦略会議等を通じて実践的活動に取り組む。

(2)　会員サービス

① 事務局のデジタル化、並びにペーパーレス化を更に推進し、電子メールによるタイムリーな情報発信を行うとともに、各種案内への申込手続き等の利便性向上を図るなど会員との相互連絡を円滑にする。
② セミナーや懇談会等会員交流の場を増やしてビジネス創出につなげるなど、会員同士並びに事務局間の相互理解と一体感を醸成する。
③ 九経連「九州女性の会」（会員企業の女性経営者及び女性管理職が参加）の活動を支援する。
④ 九経連の取組に関するアンケート等を適宜実施し、会員の声を事業計画（中期、単年度）などに反映し、実行に移していく。

(3)　広報

① 報道機関に対して、定期的、かつタイムリーな情報提供を行うなどPR強化を図る。
② ホームページやSNS、新着情報メールサービスの活用等により、活動実績や予定等をスピーディに提供することで発信力を強化し、本会活動への参画者増につなげる。
③ 九経連四季報を発行。特集ページを中心とした内容の充実などホームページとの差別化を図り、会員にとって役立つ情報誌とする。

(4)　九州未来ビジョン2050策定

① 2050年の九州の「ありたい姿」「こうなっているかもしれない姿」を、次世代が主役となって自由な発想で創り上げる。

② ビジョン策定の過程で、次世代リーダーがフューチャー・デザイン※の考え方や手法を習得し、将来を見据えた構想力や判断力の向上を図る。

※フューチャー・デザインとは、将来世代の立場に立って現在の施策や行動を考え、持続可能な社会の実現を目指す考え方や手法のこと

③ 九州各地の若手経営者・リーダーたちが本取組みに参加することで、今後九州をけん引していくリーダーたちのネットワークを築く。

（付２）　関連協議会等

(1)　下関北九州道路建設促進協議会

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九経連 地域共創部）

関門地域の一体化と交流拡大、地域経済の活性化に寄与するため、下関北九州道路の早期実現に向けた活動を実施する。

(2)　東九州軸推進機構

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九経連 地域共創部）

東九州地域の産業・経済をはじめとする地域社会の活性化を図るため、高規格幹線道路による循環型高速交通ネットワークの整備等に向けた活動などを実施する。

(3)　九州航空宇宙開発推進協議会

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九経連 産業振興部）

九州地域の航空機産業の育成･拡大と宇宙産業の創出を図るため、産学官が一体となって技術レベルの向上や受注獲得のためのアプローチ支援などを実施。2022年に策定した第３次アクションプランの最終年度にあたり、九州における航空･宇宙産業の新たなステップに向けて取組を展開する。

(4)　九州国際医療機構

（代表理事：中島康晴・九州大学病院長代理
事務局：九経連 地域共創部）

九州の医療機関と産学官の連携により、外国人医療渡航者の九州誘致を目指す。この取組が、在留外国人へのサービス提供の質のさらなる向上へと相乗効果を生み、そして観光等への波及効果へとつなげることで、九州経済の活性化に寄与することを目指す。

(5)　九州の食輸出協議会

（会長：弓場秋信・弓場貿易㈱社長
事務局：九経連 地域共創部）

九州の生産者･食品製造業者等と九州に拠点を置く商社との連携や海外需要開拓に向けた協働を後押しし、九州の農林水産物及び食品等の輸出拡大を目指す。

(6)　九州経済国際化推進機構

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九経連 総務国際部、九州経済産業局）

九州経済のグローバル化に向け、九州経済産業局、九州各県・政令市、企業等との連携を図り、海外への経済交流ミッションの派遣や受け入れ、環黄海経済・技術交流会議（九州・中国・韓国の３カ国会議）の開催など、海外との経済交流事業を実施する。

(7)　九州･沖縄地方創生･産業振興懇談会

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九州地方知事会、九州経済産業局、
九経連 経営企画室）

九州地域戦略会議メンバーに加え、政令市や大学、国の地方支分部局長が一堂に会して、九州の発展の方向性や課題認識を共有・議論する。九州地域戦略会議との連携により、議論の相乗効果や「第３期九州創生アクションプラン」の実効性を高め、地域の創生と産業振興に繋げることを目的としている。

(8)　九州ＤＸ推進コンソーシアム

（共同代表：九州経済連合会 会長、九州大学 総長
事務局：九経連 産業振興部、九州大学、福岡県、
デロイトトーマツグループ）

域内の自治体や企業、大学等、産学官金の関係者が一体となって、地域におけるデジタル人材の育成や、デジタル技術の活用による地域課題の解決と新たな産業の創造を推進し、持続可能な地域社会と経済発展の実現を目指す。

(9)　九州大学学術研究都市推進協議会

（会長：九州経済連合会 会長
事務局：九州大学学術研究都市推進機構
九経連内担当：地域共創部）

九州大学学術研究都市構想の総仕上げに向けて産学官民がより一層連携し、新たなフェーズを迎える学術研究都市づくりを推進する。

(10)　九州エネルギー問題懇話会

（委員長：杉田浩二・九経連副会長）

エネルギー問題や地球環境問題について、情報や知識の交流を行い、多くの方々に身近な問題として考えていただくことを目的に、講演会や見学会などの諸活動を実施する。

(11)　(一社)九州 MaaS 協議会

(会長：九州経済連合会　会長
事務局：九経連 地域共創部、西鉄 、JR 九州）

2023 年度に九州地域戦略会議で策定した「九州 MaaS グランドデザイン」の実現に向けて 2024 年４月に設立。九州７県と各県で事業を展開する陸・海・空の交通事業者他約 110 を超える企業・団体により構成される、国内初の広域連携・官民共創による MaaS の実行組織。地域交通ネットワークの利便性と持続可能性の向上に向けた取り組みを、官民が一体で推進する。

（12） (一社)ツール・ド・九州

(理事長：九経連専務理事、
大会実行委員会会長：九経連会長）

九州地域戦略会議において、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会のレガシーの持続的継承や九州でのサイクルツーリズムの推進、九州を襲った自然災害からの復興を象徴するイベントとして国際サイクルロードレース「ツール・ド・九州」の開催を決定し、その運営組織として 2022 年３月に設立された。“Make Kyushu Sustainable～九州の持続可能な未来のために～”を大会の基本方針とし、環境への配慮、DX 推進、若者の探究学習など SDGs の観点から、産官民が一体となって九州地域活性化に資する本大会ならではの取組を実施。

（13）九州・大学発ベンチャー振興会議

(共同議長：九州大学 総長、九州経済連合会 会長
事務局 ：九州ｵｰﾌﾟﾝｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ、
FFGﾍﾞﾝﾁｬｰﾋﾞｼﾞﾈｽﾊﾟｰﾄﾅｰｽﾞ、
九経連 産業振興部）

「優れた大学なくして地方の発展なし」という基本認識のもと、九州の産学が一体となって、地域経済発展の駆動力としての大学発ベンチャーを振興することを目的として、大学・経済界・ベンチャーキャピタルをつなぐ役割を果たし、大学シーズの速やかな実用化を支援する。

報告事項２－２

2026年度 収支予算

2026年4月1日から2027年3月31日まで　　（単位:円）

科　目	2026年度 予算額 (A)	2025年度 予算額 (B)	増 減 (A)−(B)	備 考
Ⅰ. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産収入				
特定資産運用収入				
特定資産運用収入	1,400,000	850,000	550,000	金利上昇
入会金収入				
入会金収入	1,500,000	1,500,000	0	新入会目標30社
会費収入				
会費収入	291,900,000	295,070,000	△ 3,170,000	入退会予測差引後
雑収入				
受取利息収入	300,000	100,000	200,000	
その他収入	6,100,000	1,350,000	4,750,000	事務委託費、TDK家賃収入
事業活動収入計 (A)	**301,200,000**	**298,870,000**	**2,330,000**	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
給料手当支出	110,400,000	106,900,000	3,500,000	年齢給ベア3%＋定期昇給
総会役員会費支出	8,900,000	8,000,000	900,000	会場費、交流会費増
会員懇談会費支出	5,500,000	5,300,000	200,000	
委員会費支出	48,000,000	49,700,000	△ 1,700,000	各委員会費積算
調査費支出	5,200,000	3,700,000	1,500,000	海外視察団、農業調査等
刊行費支出	8,200,000	4,900,000	3,300,000	SNS、HP等、情報発信強化
旅費交通費支出	9,600,000	9,400,000	200,000	
通信費支出	2,300,000	2,300,000	0	
図書資料費支出	500,000	500,000	0	
加盟団体費支出	2,700,000	2,700,000	0	
特別事業費支出	9,500,000	20,200,000	△ 10,700,000	「ツール・ド・九州」関係負担金減
研修費支出	300,000	300,000	0	
交際費支出	500,000	500,000	0	
印刷費支出	2,000,000	2,000,000	0	
消耗品費支出	300,000	300,000	0	
諸税支出	400,000	300,000	100,000	
雑支出	200,000	200,000	0	
事業費支出計 (B)	**214,500,000**	**217,200,000**	**△ 2,700,000**	
管理費支出				
役員報酬支出	19,000,000	19,000,000	0	
退職給付費支出	27,700,000	19,800,000	7,900,000	予定者あり
福利厚生費支出	24,800,000	24,100,000	700,000	社会保険料等積算
家賃支出	41,600,000	36,000,000	5,600,000	賃料値上げ
備品費支出	12,200,000	10,800,000	1,400,000	AI導入等ライセンス料追加
修繕費支出	16,900,000	3,000,000	13,900,000	会員システム改修、機器保守料
管理費支出計 (C)	**142,200,000**	**112,700,000**	**29,500,000**	
事業活動支出計 (D)=(B)+(C)	**356,700,000**	**329,900,000**	**26,800,000**	
事業活動収支差額 (E)=(A)−(D)	**△ 55,500,000**	**△ 31,030,000**	**△ 24,470,000**	

（単位：円）

科　目	2026年度 予算額（A）	2025年度 予算額（B）	増 減 （A）−（B）	備 考
Ⅱ．投資活動収支の部				
１．投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給与引当預金取崩収入	27,700,000	19,800,000	7,900,000	退職給与費に充当
運営準備引当預金取崩収入	25,000,000	20,000,000	5,000,000	TDK負担金、会員システム改修に充当
投資活動収入計（F）	**52,700,000**	**39,800,000**	**12,900,000**	
２．投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当預金取得支出	11,900,000	10,000,000	1,900,000	必要額を計上
減価償却引当預金取得支出	700,000	1,500,000	△ 800,000	必要額を計上
入居保証金繰入支出	2,600,000	0	2,600,000	家賃値上げに伴う追加敷金
投資活動支出計（G）	**15,200,000**	**11,500,000**	**3,700,000**	
投資活動収支差額（H）=（F）−（G）	**37,500,000**	**28,300,000**	**9,200,000**	
Ⅲ．財務活動収支の部				
１．財務活動収入				
借入金収入	―	―	―	
財務活動収入計	―	―	―	
２．財務活動支出				
借入金返済支出	―	―	―	
財務活動支出計	―	―	―	
財務活動収支差額	―	―	―	
Ⅳ．予備費支出				
予備費支出（I）	0	0	0	
当期収支差額（J）=（E）+（H）−（I）	**△ 18,000,000**	**△ 2,730,000**	**△ 15,270,000**	
前期繰越収支差額（K）	**66,156,984**	**68,886,984**	**△ 2,730,000**	
次期繰越収支差額（L）=（J）+（K）	**48,156,984**	**66,156,984**	**△ 18,000,000**	